

本製品の品番は SK1812D-31E0520S
SK1812D-31E0510S です。
詳細については、P29を参照ください。

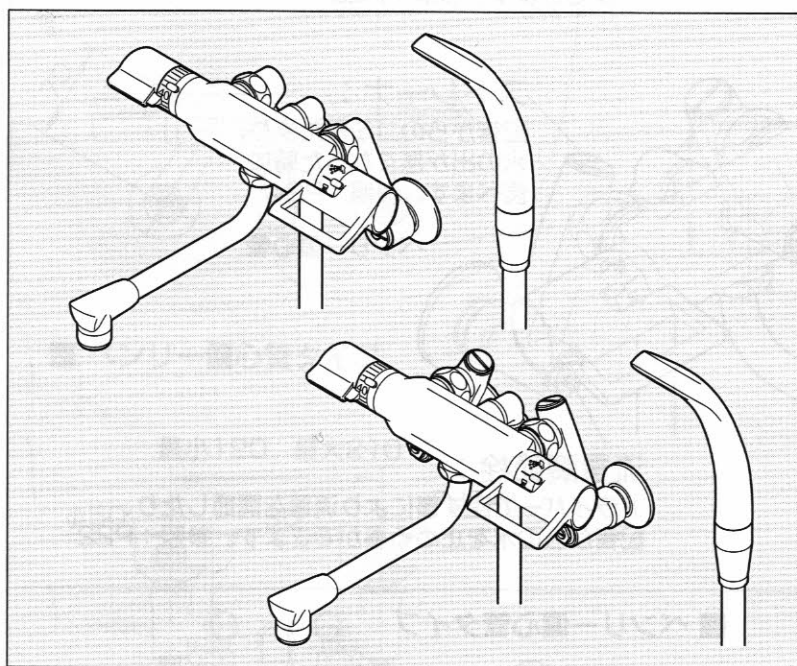
保証書付

サーモシャワー混合栓

..... SK1812D-13・SK1812D-3U-13
SK1812DC-13・SK1812DC-3U-13
(寒冷地用.....SK1812DK-13・SK1812DK-3U-13
SK1812DCK-13・SK1812DCK-3U-13)

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称.....	1
寸法図.....	2

施工について

施工に関する安全上のご注意.....	3~4
適切な使用条件.....	4
施工前のご注意.....	4
梱包明細.....	5
施工手順.....	6~15

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意.....	16~19
吐水・止水とシャワ側への切替え.....	20
温度調節.....	20
温度調節ハンドルの設定.....	21
流量調節.....	22

凍結予防について

一般用の場合.....	23
寒冷地用の場合(水抜方法).....	23

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り.....	24
ストレーナ・吐水口の掃除.....	24

定期的な点検

可動部分の点検.....	25
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ.....	25

定期的な部品交換

逆止弁の交換時期.....	25
---------------	----

こんなときは

故障? その前に.....	26
本製品の構造.....	27
オプション品について.....	28

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス.....	30
保証書.....	裏紙

本製品について

各部の名称

●本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。

一般用

●品番によっては、イラストと現品が一部異なります。

温度調節ハンドル：

温度調節ができます。
高温にしたい時は
安全ボタンを押し
て回します。
参照：P20

切替ハンドル：

吐水口側、シャワ側
に切替ができます。
中央が止水位置です。
参照：P20

安全ボタン

偏心管

吐水口

断熱
キャップ

ストレーナ：

配管からのゴミがたまり、
水の出が悪くなった時に
調べます。参照：P24

流量調節栓：

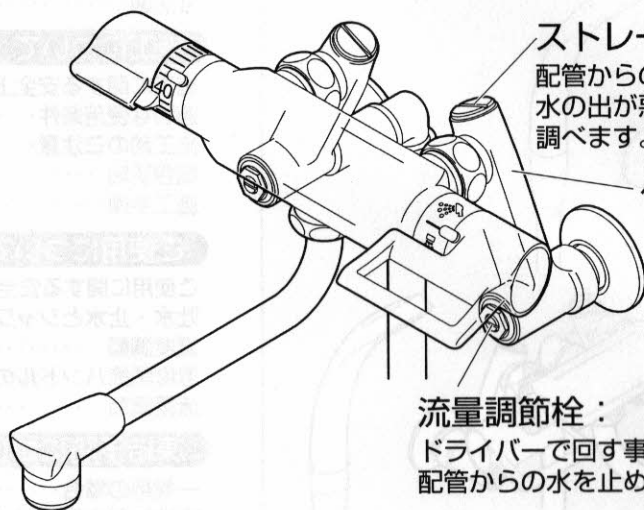
ドライバーで回す事
により流量を調節したり、
配管からの水を止める事
ができます。参照：P22

節水
シャワヘッド

シャワ掛具

シャワホース

■ ベンリー偏心管タイプ



ストレーナ：

配管からのゴミがたまり、
水の出が悪くなった時に
調べます。参照：P24

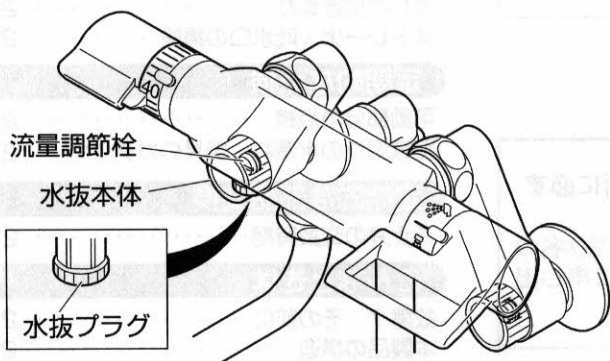
ベンリー偏心管

流量調節栓：

ドライバーで回す事により流量を調節したり、
配管からの水を止める事が
できます。参照：P22

寒冷地用

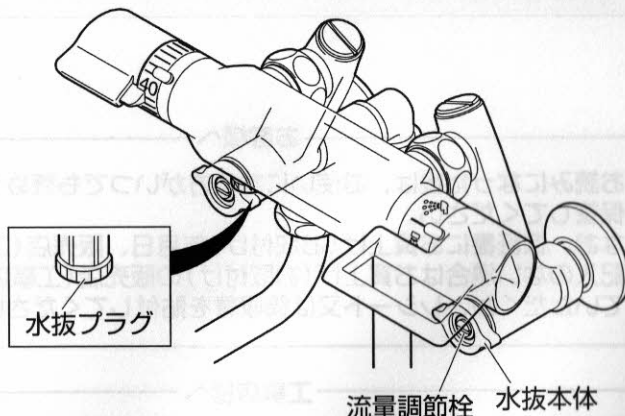
■ ベンリー偏心管タイプ



流量調節栓

水抜本体

水抜プラグ



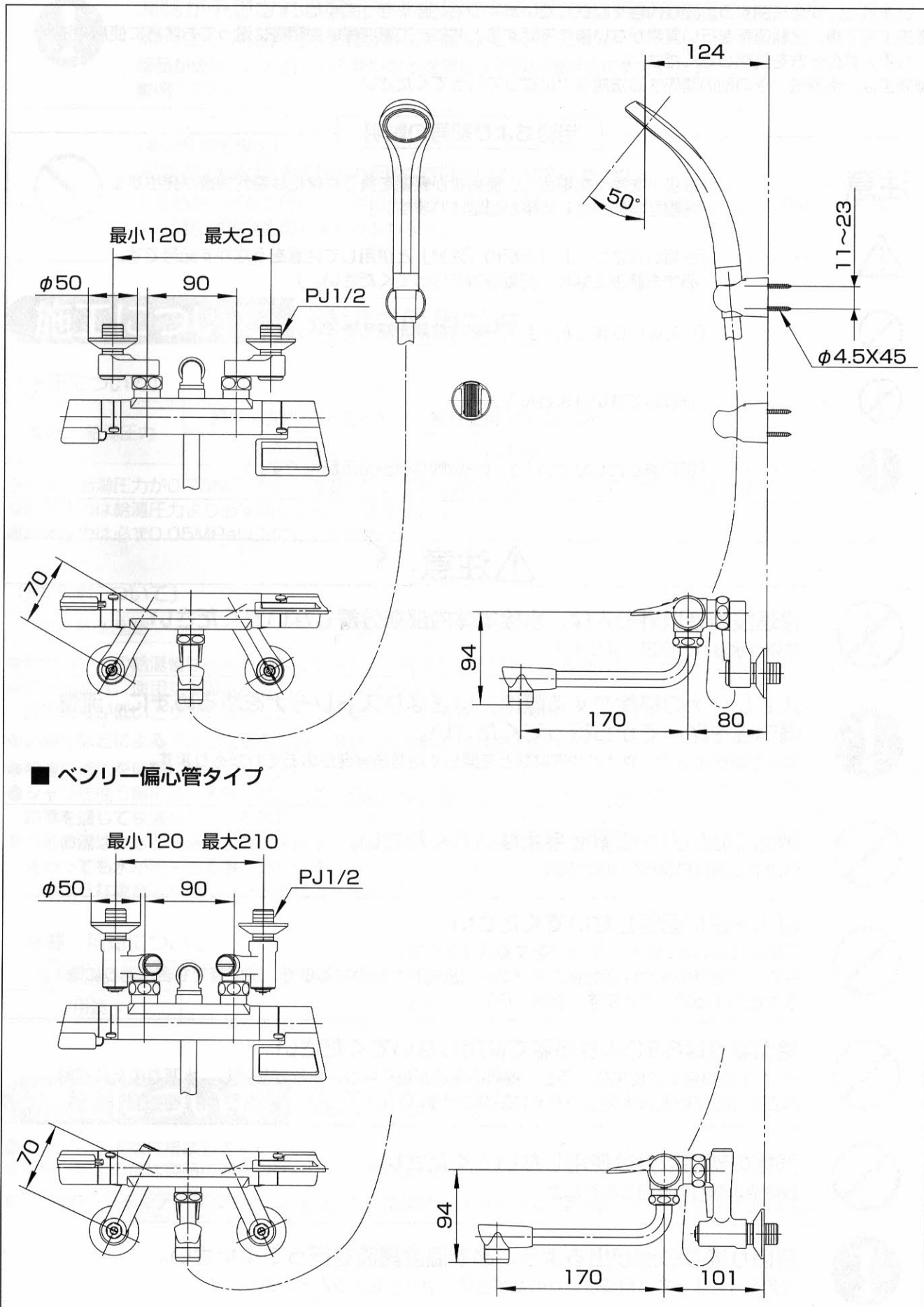
水抜プラグ

流量調節栓 水抜本体

凍結のおそれがある場合に水抜部を回して水栓内部の水を抜きます。参照：P23

本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



..... 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）



..... 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



..... 「分解してはいけません！」



..... 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、流量調節栓を閉めてから行ってください。

湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P24



製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や水漏れの原因になります。



湯水を逆に配管しないでください。

正常に作動しないため、やけどをする事があります。

なお、逆配管の場合は逆配管アダプター（別売）を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。参照：P9



給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



同梱の部品以外は使用しないでください。

故障や水漏れの原因になります。



目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。

使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。

⚠️ 注意



(寒冷地用の場合)

凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。

部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

参照：P23



(寒冷地用の場合)

水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。
四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 自動お湯はりなど一時止水機構を持った給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても水が若干出る事があります。これは、水栓の破損防止機構が働いているためです。
このような場合は水栓のハンドル側で水を止めてください。

〔水質・用途について〕

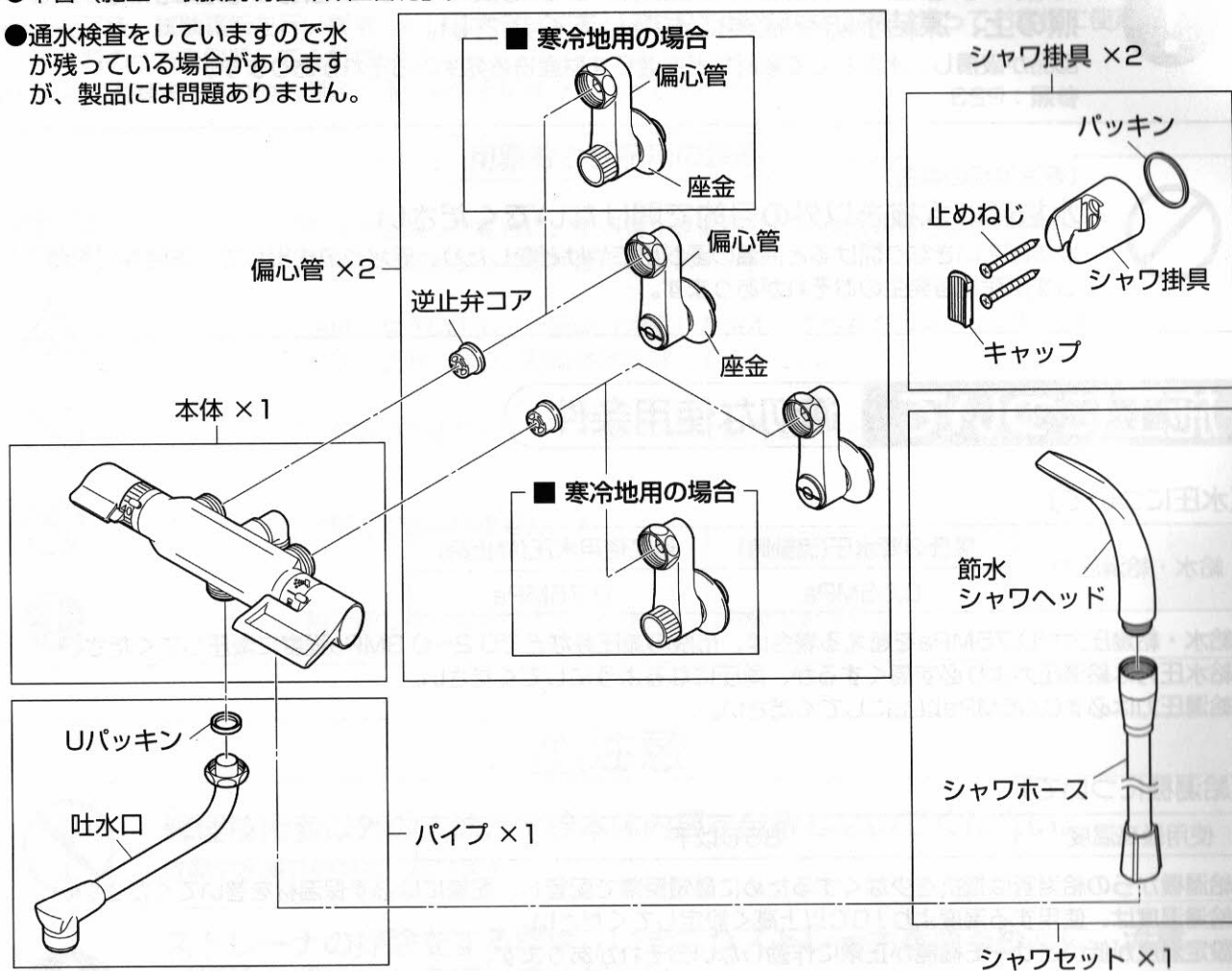
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

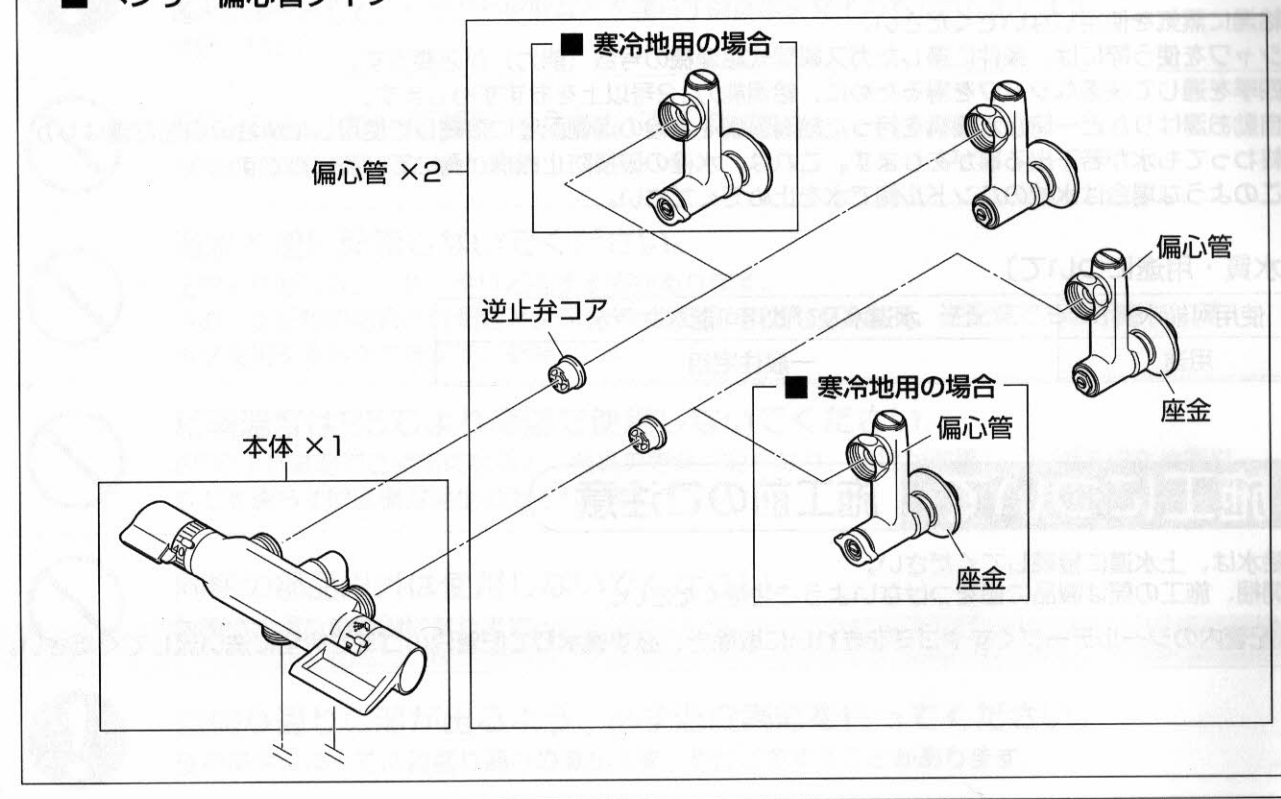
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



■ ベンリー偏心管タイプ



施工について 施工手順

主な工具類

■ シールテープ：

水栓の偏心管を配管に取付ける際に必要です。



SAN-EI品番：
PP75-1S
(シールテープ)

■ スパナ・モンキーレンチなど：

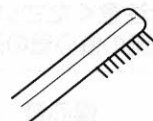
水栓のナットが回せる工具。



SAN-EI品番：
PR3351
(水栓スパナ)

■ 使い古しのハブラシなど：

配管掃除ができるもの。



■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



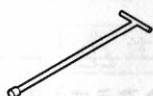
■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



元栓がキー式の場合
に必要な工具
(参照：P6)

■ 止水栓キー



SAN-EI品番：
PR30A (止水栓キー)

配管中のザルボがはずれた場合
に必要な工具 (参照：P7～8)

■ 六角レンチ

SAN-EI品番：
PR35
(六角スパナ)



対辺12mm

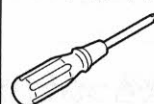
■ プライヤー



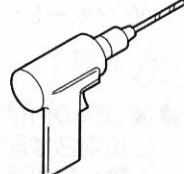
SAN-EI品番：
PR346-1S
(水栓プライヤー)

シャワ掛具を取付ける場合に
必要な工具 (参照：P15)

■ プラスドライバー



■ 電動ドリル



A 古い水栓の取りはずし

※新設の場合は **B** (P9) に進んでください。

1 元栓を閉めて、水を止めます。

元栓ボックス (メーターボックス) のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

※一部の地域では左回しの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

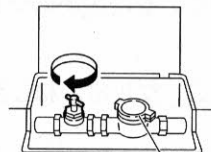
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式
ボックスがあったりします。

● キー式



止水栓キー
SAN-EI品番：
PR30A (止水栓キー)

● ハンドル式



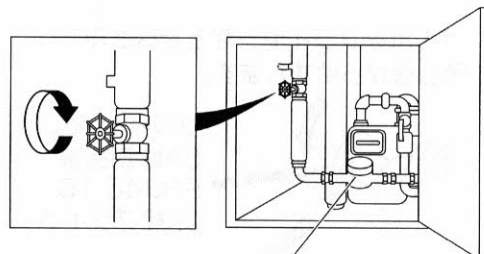
水道メーター
(量水器)

■ マンションなどの

中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわから
ない場合は、水道料金の検針票などでご自
分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター (量水器)

2 古い水栓本体をはずします。

偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りはずします。

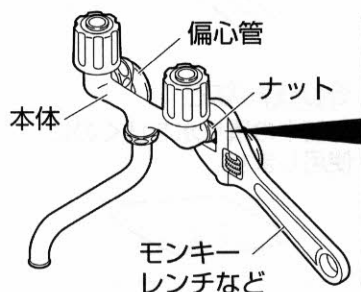
偏心管側にナットが付いている場合は右、本体側にナットが付いている場合は左に回します。

⚠ 注意

- ねじで手を切る場合があります。
ご注意ください。
- 湯側の偏心管の残り湯にご注意ください。

アドバイス

- この時、片方のナットだけ回そうまくはずれません。
交互に少しずつゆるめて取りはずしてください。
- 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。



■ 偏心管側にナットが付いている場合



■ 本体側にナットが付いている場合



3 古い偏心管をはずします。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左に回してはずします。

手で回してもはずれない場合はモンキーレンチなど工具を用います。

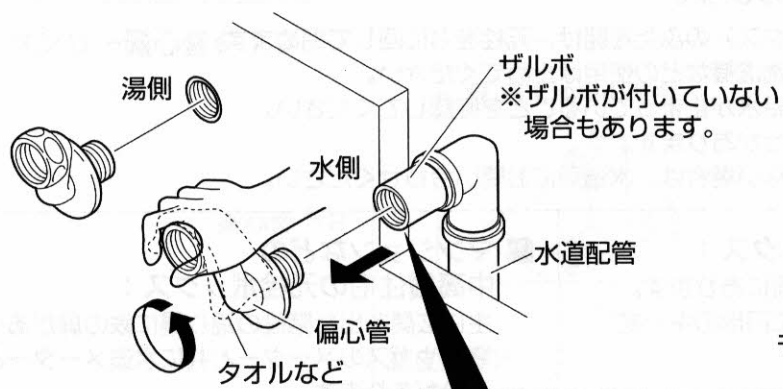
モンキーレンチなどが滑らないようにしっかりと偏心管にはさんで回してください。

⚠ 注意

- 偏心管の付け根がぐらついていたり、回そうとすると反発を感じる場合は配管がきちんと固定されていない可能性があります。
注意しながら回してください。
配管が割れそうな場合は無理に回そうとせずに、偏心管をはずさず取付ける事ができる取替用混合栓をお買い求めください。
- ねじで手を切る場合があります。
ご注意ください。
- 湯側の配管の残り湯にご注意ください。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。



■ 手で回してもはずれない場合



■ 配管中のザルボがはずれた場合

配管中にはザルボ（商品には含まれていません。）が付いている場合があります。

もし、ザルボがはずれた場合は次の要領で取付けてください。

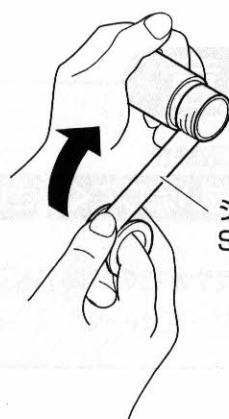
- (1) ザルボをプライヤーなどではさみ、偏心管からはずします。



- (2) ザルボのねじ部を掃除します。



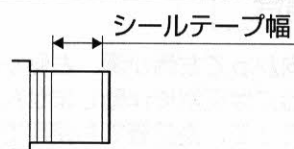
- (3) 手でしっかりとザルボを握り、シーลテープをねじに向かって右向きに、5回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



シーลテープ
SAN-EI品番：PP75-1S（シーลテープ）

アドバイス

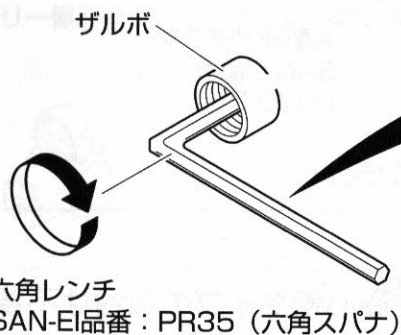
シーลテープをねじ全体に巻く必要はありません。
シーลテープ幅に合わせて巻付けてください。



⚠ 注意

シーลテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シーลテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

- (4) ザルボを配管の中に入れ、六角レンチで締付けます。



六角レンチ
SAN-EI品番：PR35（六角スパナ）



■ 六角レンチがない場合

ザルボを配管の中に入れ、六角レンチの代わりに古い偏心管で締付けます。
締付け後、古い偏心管をとりはずします。



⚠ 注意

ザルボの取付けは慎重に進めてください。
壁の中にあるため、もしもの漏水の確認が困難です。

B 新しい水栓の取付け

4 配管内の掃除をします。

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉は手順1を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。



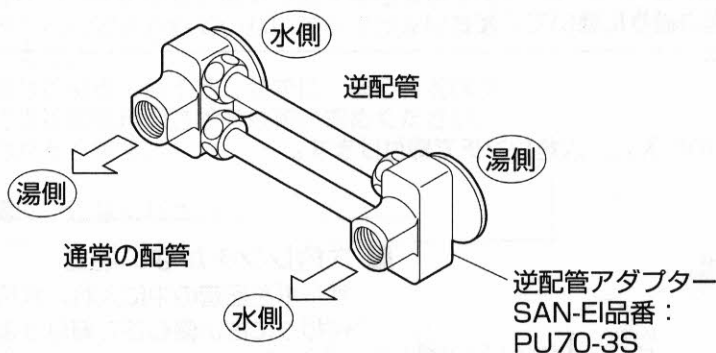
逆配管の場合

通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合には正常に作動しません。

下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

■ 逆配管アダプター (別売) による対応

逆配管アダプターを使用する事によって、逆配管を通常の配管にします。



※取付方法については逆配管アダプターの説明書をお読みください。

5 偏心管の取付回転を確認します。(ベンリー偏心管タイプの場合は不要です。)

偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

アドバイス

取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。

MEMO

湯側

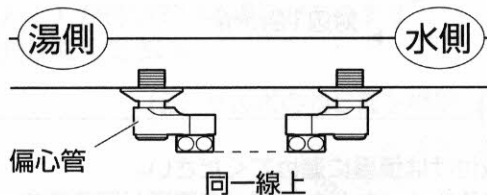


回転

水側



回転



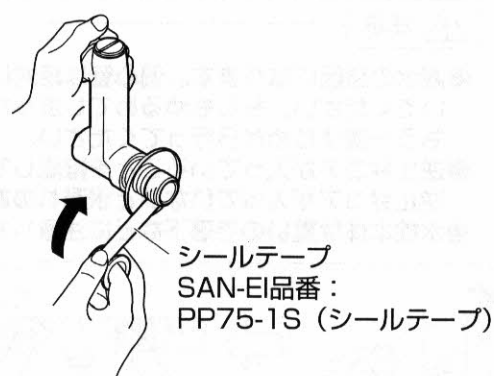
※「ハ」の字になるように

6 偏心管にシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、10回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



■ ベンリー偏心管タイプ



アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。
シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



⚠ 注意

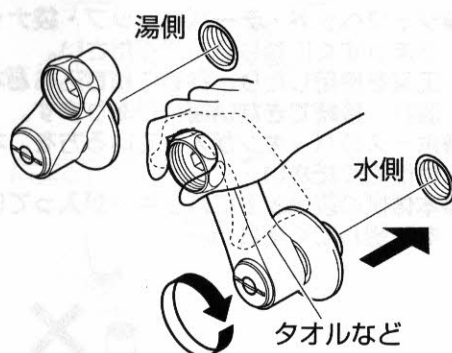
シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

7 偏心管を仮固定します。

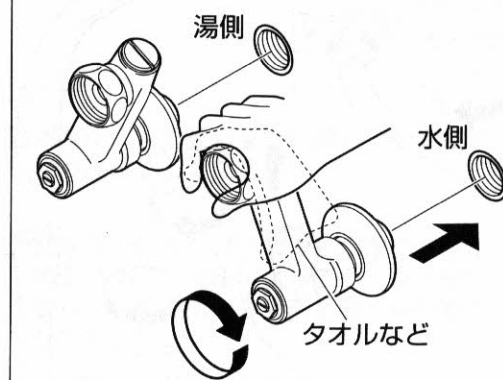
偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右に回して入れます。

手順5で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともに回して止めておきます。

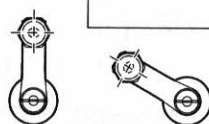
(ベンリー偏心管タイプの場合は不要です。)



■ ベンリー偏心管タイプ



手順5の少ない方の回転数より
1回転少ない位置で止めておく。
(ベンリー偏心管タイプの場合は不要です。)



アドバイス

上記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。

⚠ 注意

漏水の原因になります。
偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。
もしもゆるめてしまった場合は、手順6をもう一度はじめから行ってください。

8 水栓本体を取付けます。(ベンリー偏心管タイプの場合は、P12~13を参照してください。)

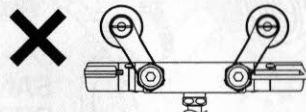
(1) 水栓本体と偏心管の間に、逆止弁コアが入っていることを確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

⚠ 注意

- 漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順6をもう一度はじめて行ってください。
- 逆止弁コアが入っていることを確認してください。
逆止弁コアが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。

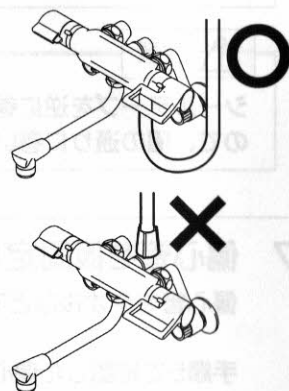
⚠ 注意

偏心管の水抜き部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。



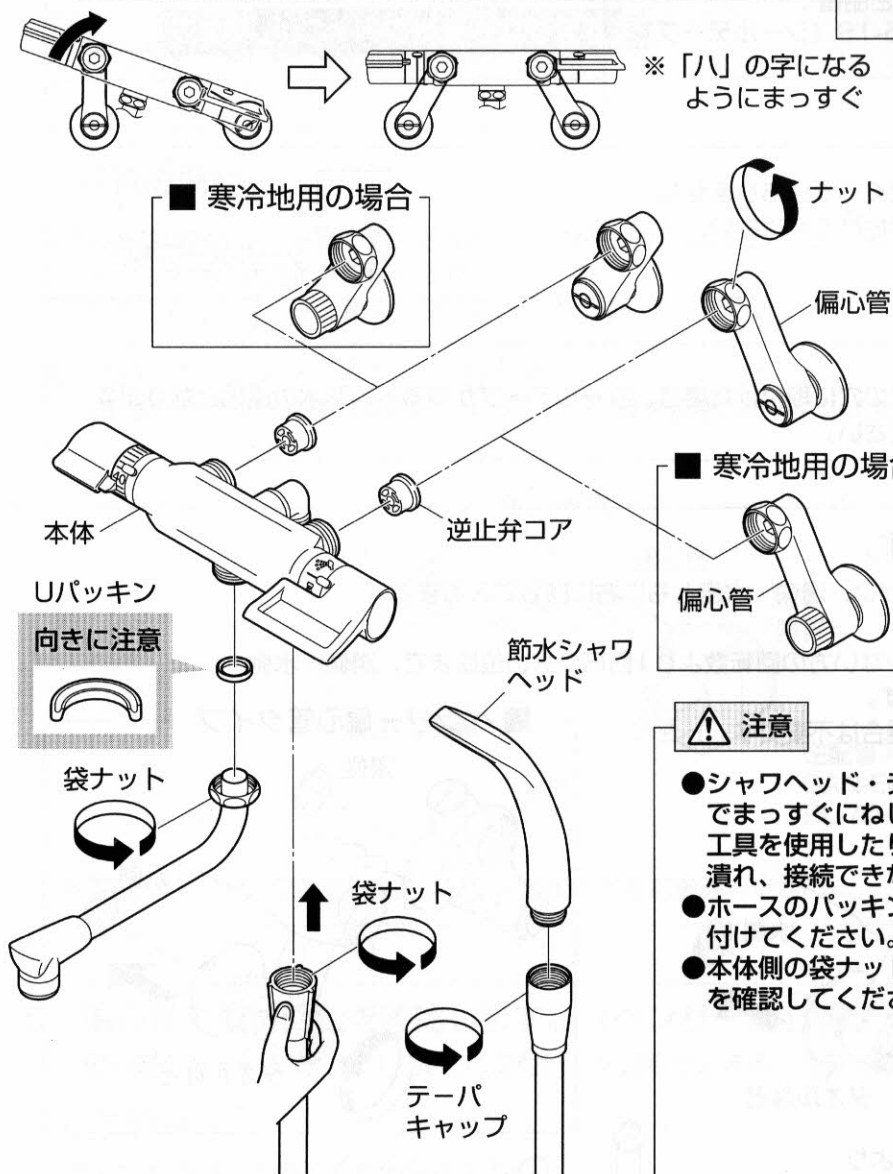
⚠ 注意

シャワホースは偏心管の下から取出してください。寒冷地用の場合は偏心管の上から取り出すと水抜きができなくなります。



⚠ 注意

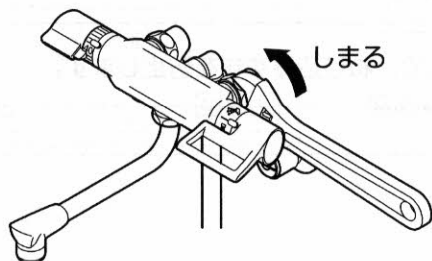
- シャワヘッド・テーパキャップ・袋ナットは手でまっすぐにねじ込んでください。
工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- ホースのパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。
- 本体側の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。



(2) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。

⚠ 注意

ゆるみがないように確実に締めてください。
ナットが確実に締付けられていないと、
本体が傾いたり水が漏れることがあります。



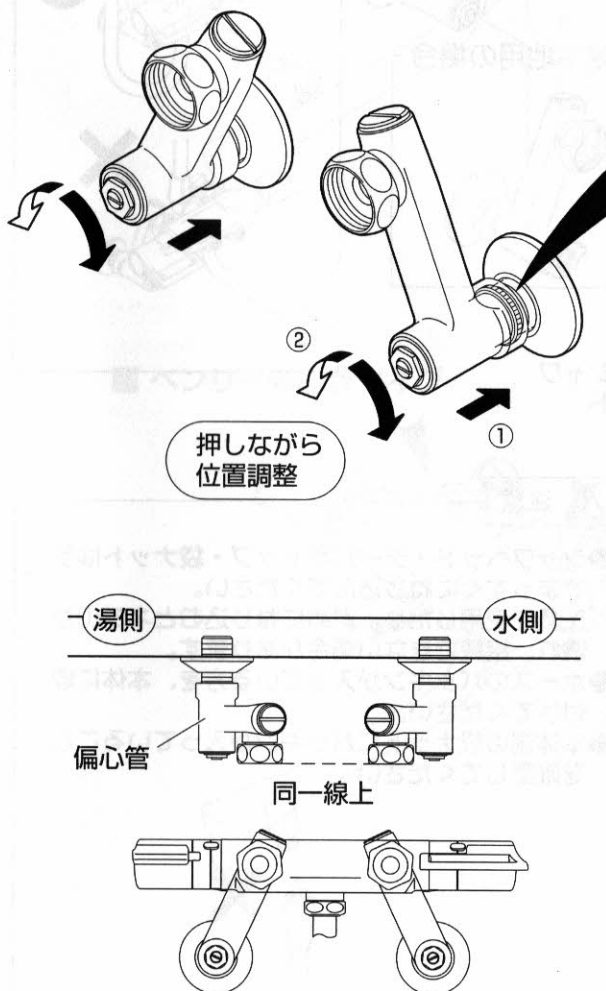
「9 元栓を開いて水漏れをチェックします。」は、P14を参照してください。

8 水栓本体を取付けます。

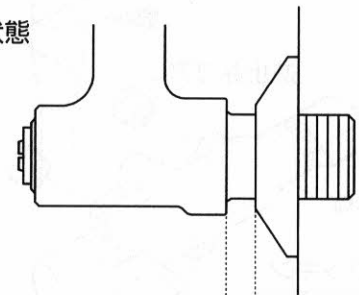
- (1) 偏心管を壁側へ押しながら「ハ」の字で水栓本体の取付ねじに合うように、位置調整します。
はなすとロック（回転しない）状態になります。

⚠ 注意

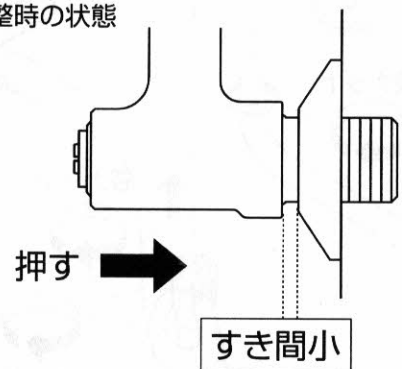
漏水の原因になります。
ロック状態で偏心管を逆方向へゆるめないでください。
もしもゆるめてしまった場合は、手順6をもう一度はじめてから行ってください。



● ロック (回転しない) 状態



● 位置調整時の状態



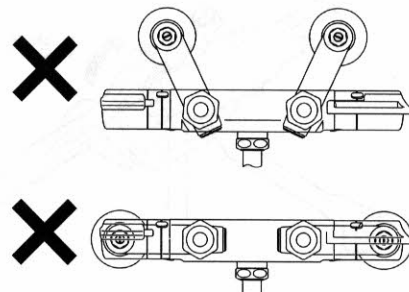
⚠ 注意

位置調整時に偏心管と座金の間に手をはさまないよう注意してください。

(注) 回転状態のまま通水しても水漏れしない構造ですが、水圧によってロック状態になり、水栓本体が多少前に動く場合があります。

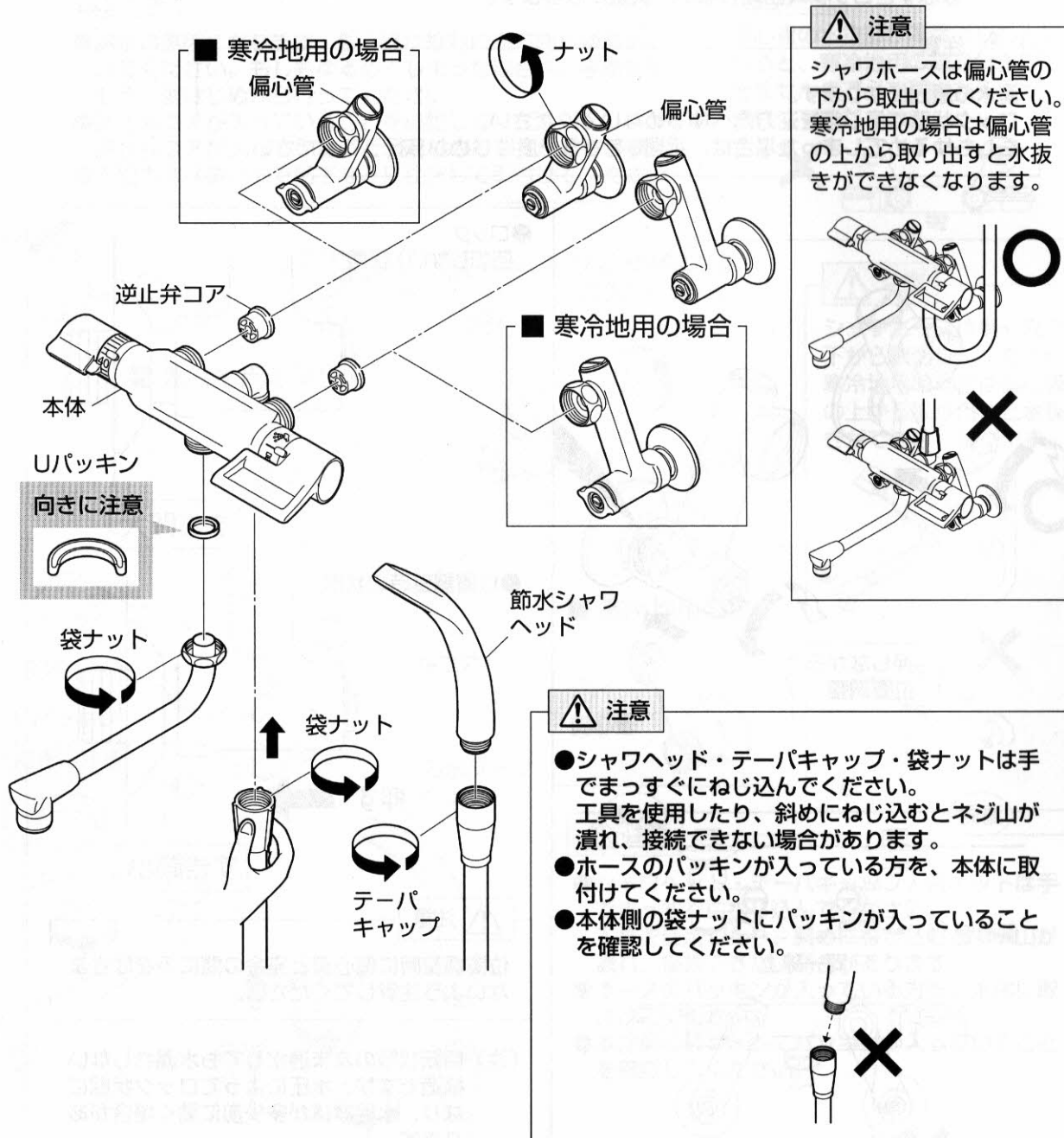
⚠ 注意

偏心管の水抜き部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。
また、偏心管を水平に取付けるとハンドルにあたりますので、必ず寸法図（参照：P2）をご確認ください。

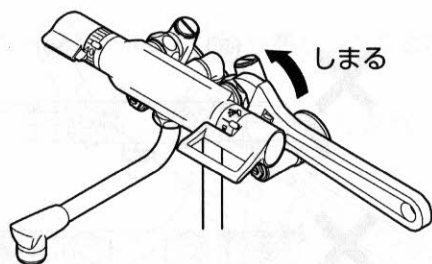


■ ベンリー偏心管タイプ

(2) 水栓本体と偏心管の間に、逆止弁コアが入っていることを確認し、手でナットを締付けていきます。



(3) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。



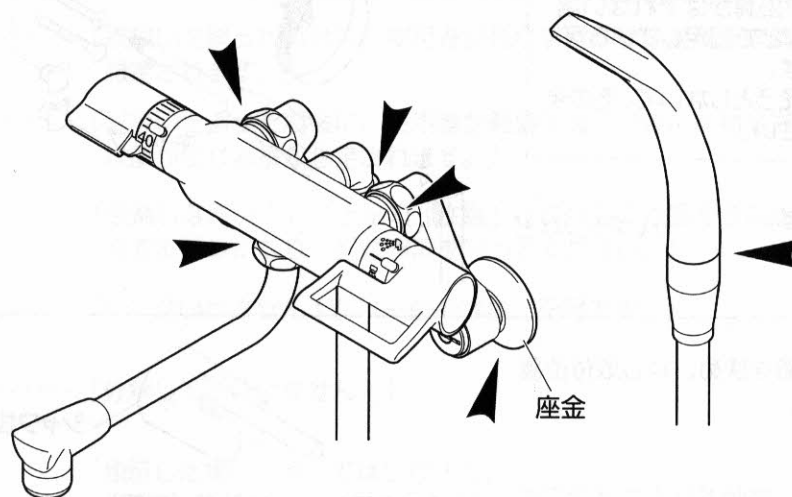
注意

ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

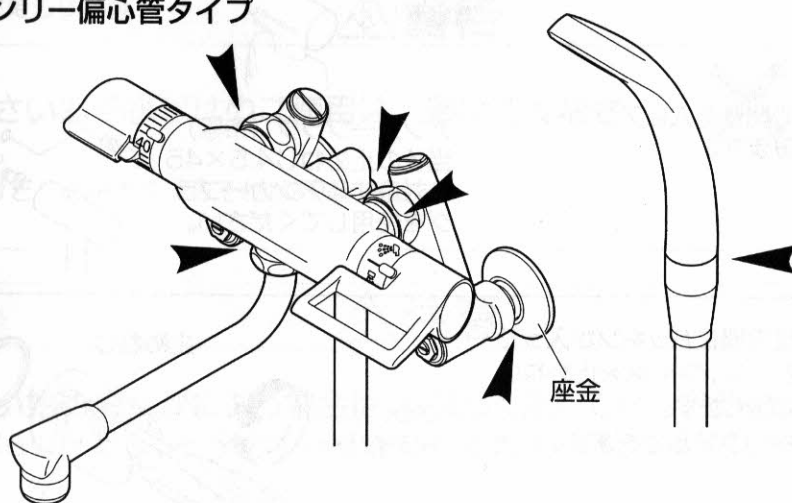
「9 元栓を開いて水漏れをチェックします。」は、P14を参照してください。

9 元栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。
最後に座金を壁面に締付けて完了です。

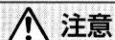


■ ベンリー偏心管タイプ

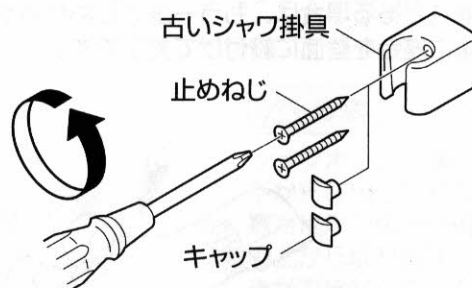


10 シャワ掛具を取付けます。

- (1) 古いシャワ掛具の止めねじをはずします。



注意
止めねじがない場合や止めねじをはずしてもシャワ掛具がはずれない場合は、接着剤などで固定している可能性があります。
無理してはずそうとしないで、そのままお使いください。



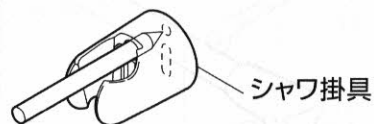
- (2) 穴を掃除します。

ハブラシなど



■ 新設の場合

- ① シャワ掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。

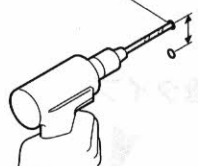


- ② 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。
(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。)

手順③のアンカープラグ (市販) に適合するドリル径で開けてください。

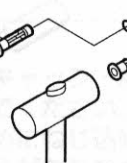
推奨取付ピッチ20mm (11~23mmの範囲で調整できます。)

電動ドリル

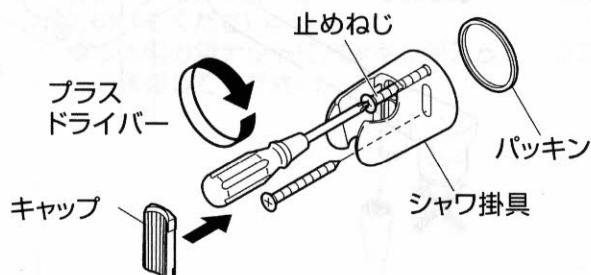


- ③ 電動ドリルなどで開けた穴にアンカープラグを差し込みます。

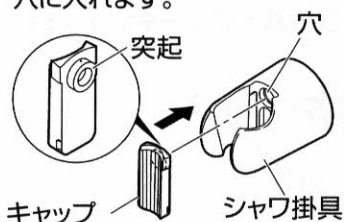
アンカープラグ (市販)
当社の止めねじ4.5×45に対応するアンカープラグを使用してください。



- (3) シャワ掛具と壁の間にパッキンが入っている事を確認し、シャワ掛具を止めねじでしっかりと固定します。
最後に穴をキャップでふさぎます。



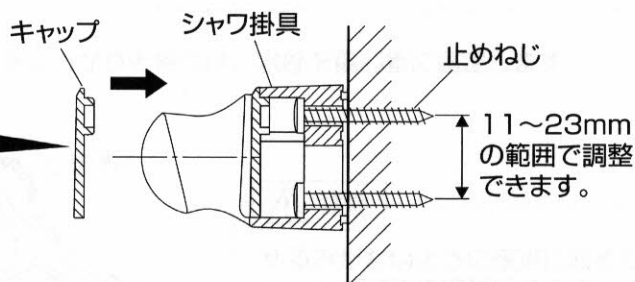
- 1 キャップの突起をシャワ掛具の穴に入れます。



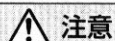
- 2 キャップの下側を押します。



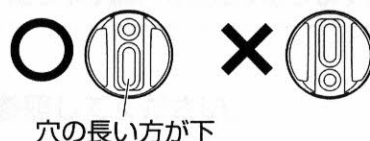
下側を押す



11~23mm
の範囲で調整
できます。



注意
シャワ掛具の向きに注意してください。
止めねじ穴の長い方が下です。



ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  「分解してはいけません！」
-  「指示した場所に触れてはいけません！」
-  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



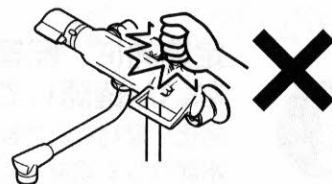
注意



使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



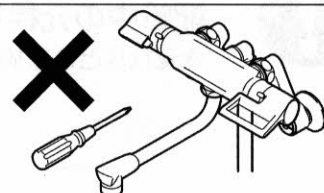
製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、流量調節栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P24



分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠️ 注意



凍結が予想される場所でご使用になる場合は、
凍結予防を確実に実施してください。

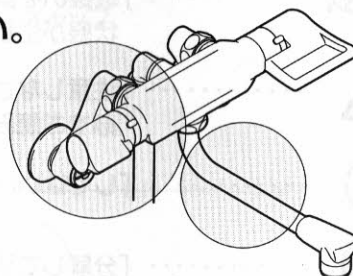
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

参照：P23

窓を閉めるなど



少量の水を出すなど

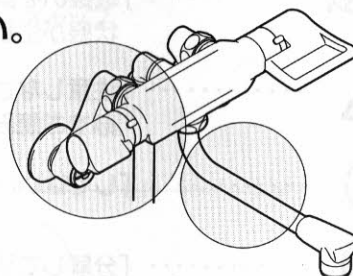


●水栓の左側には直接肌を触れないでください。

給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれ
があります。

●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接
肌を触れないでください。

吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあ
ります。

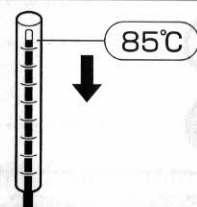


(給湯器の設定温度について)

給湯温度は最高85℃まででお使いください。

85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。

なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給
湯をおすすめします。

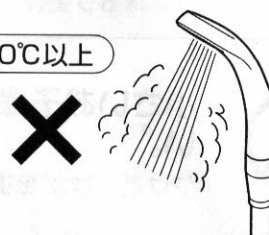


シャワには高温の湯（60℃以上）を通さな
いください。

給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下に
なるように調節してください。

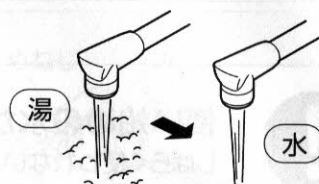
シャワヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。
安全のため、適温でのご使用をおすすめします。

60℃以上



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから
止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、や
けどをするおそれがあります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキが
ないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、
水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあり
ます。



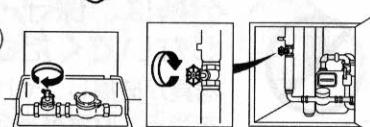
長期間使用しない時は、流量調節栓または
配管中の元栓を閉めてください。

水漏れなどの事故の原因になります。

流量調節栓



元栓



⚠️ 注意



温度調節ハンドルの温度位置を確かめて吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

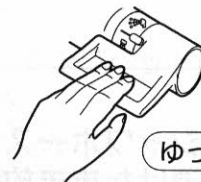
確認



切替ハンドルは、ゆっくり回してください。

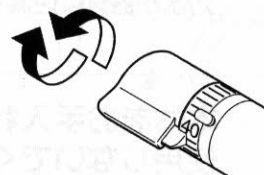
切替ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ゆっくりと



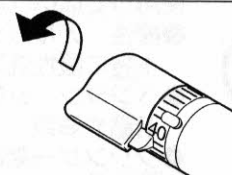
日頃から、ときどき温度調節ハンドルを回してください。

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は必ず温度を40℃以下に戻してください。

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。

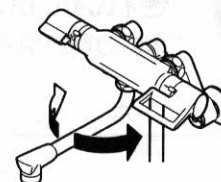
温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。

ゆっくりと



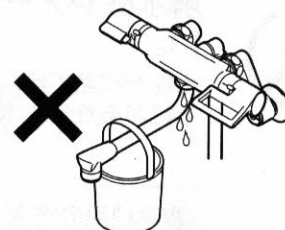
日頃から、ときどき吐水口を回してください。

吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。



吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

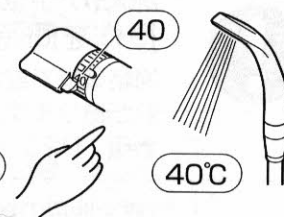
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。



凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認してください。

凍結すると本体内の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。

確認



シャワをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

確認



⚠️ 注意



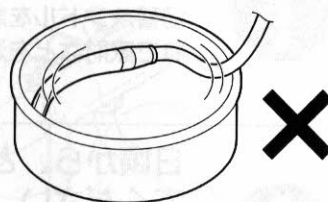
お使いになる前に、吐水口側かシャワ側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。

間違えると、やけどをするおそれがあります。



シャワホースやシャワヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。

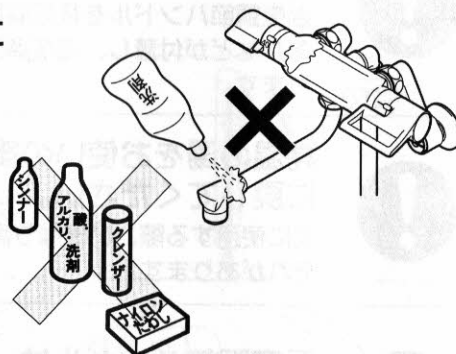
汚水が器具に逆流するおそれがあります。



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

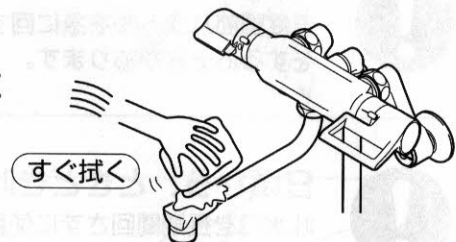
使用してはいけないもの

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。



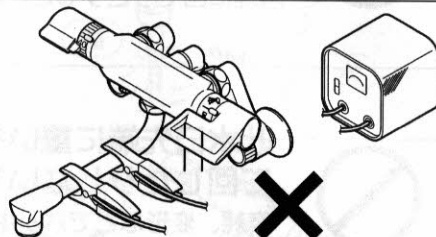
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

本体の割れや変色変質の原因となります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

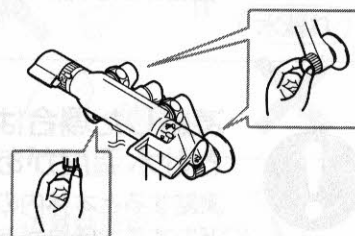


(寒冷地用の場合)

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

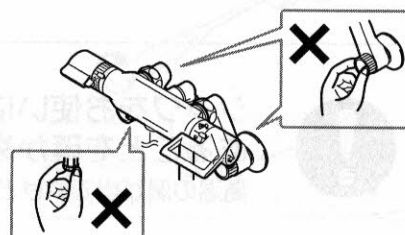
参照：P23



(寒冷地用の場合)

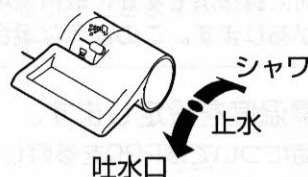
水抜き部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ご使用について 吐水・止水とシャワ側への切替え

ハンドルを手前に回す → 吐水口
 ハンドルを奥に回す → シャワ
 中央 → 止水

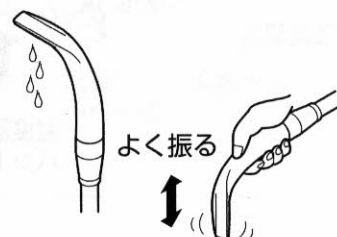


⚠ 注意

止水後、シャワヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓の一時止水切替ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワヘッド内の水はシャワ散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開け閉めによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワヘッドをよく振ってください。



ご使用について 温度調節

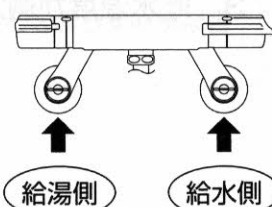
- 給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。

給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。

※本製品はやけど防止のため、安全ボタンを押してH最大まで回しても水が混ざる 50～60℃

構造となっており、
 H最大まで回しても
 給湯機の設定温度より
 低温の湯が出ます。

設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。
 （作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます。）
 実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。



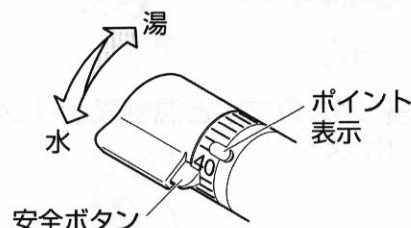
温度調節

目盛をポイント表示に合わせる。

数字は温度の目安としてご使用ください。

ハンドルを手前に回す → 温度が下がる

ハンドルを奥に回す → 温度が上がる



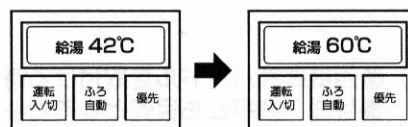
高温の使用

安全ボタンを押して回す。

⚠ 注意

- 安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。
- 高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻してしばらく水を流してください。

※安全ボタンを押して温度調節ハンドルを回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を50～60℃に設定した後、水栓側の温度調節ハンドルをH側へ回してください。



（注）水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。

この場合には、水栓側のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。



ご使用について

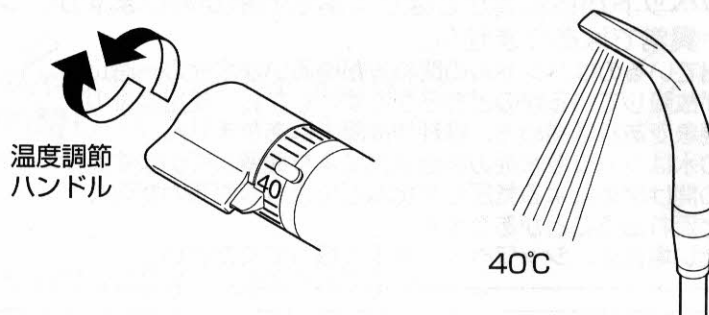
温度調節ハンドルの設定

温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

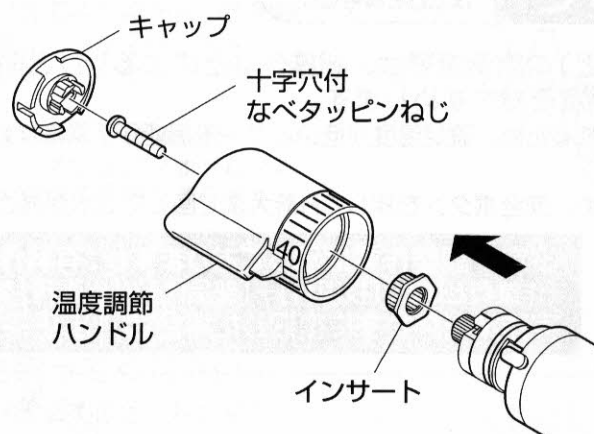
1 給湯機の給湯温度を設定します。

給湯温度の設定についてはP20を参照してください。

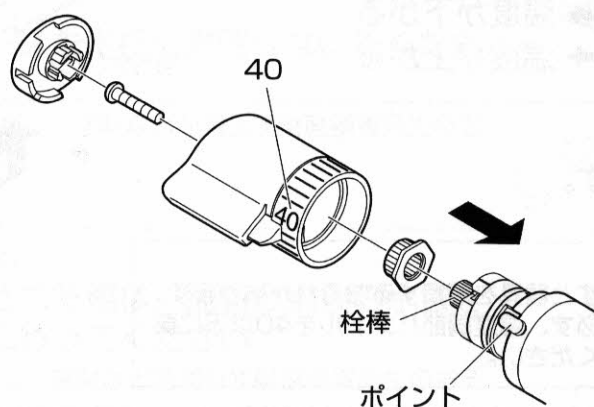
2 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が適温（およそ40℃）になるように回します。



3 吐水温度が適温（およそ40℃）になる位置で温度調節ハンドルをはずします。



4 目盛の40の文字と温度表示リングのポイントを合わせて、温度調節ハンドルを取付けます。



(注) ●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。

●目盛・数字とも目安としてご使用ください。

●温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。

着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。

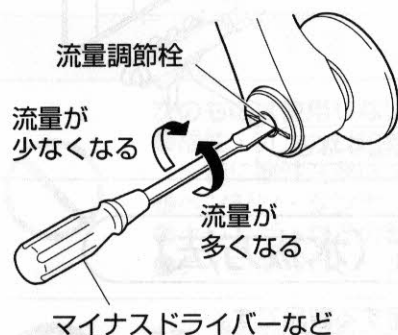
●キャップを取りはずす際は、工具などで製品に傷がつかないように、注意してください。
(例：細い工具などにテープを巻いて取りはずす。)

●部品をなくさないように注意してください。

ご使用について 流量調節

ドライバーで回す事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

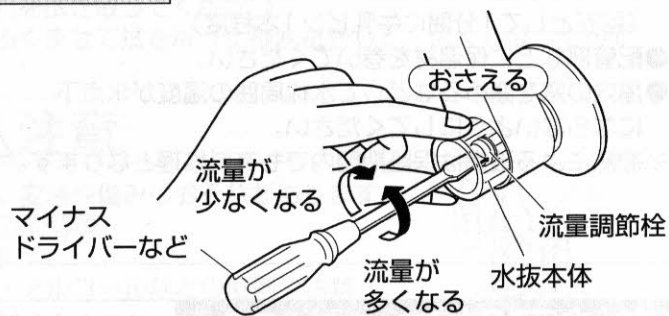
一般用



■ ベンリー偏心管タイプ



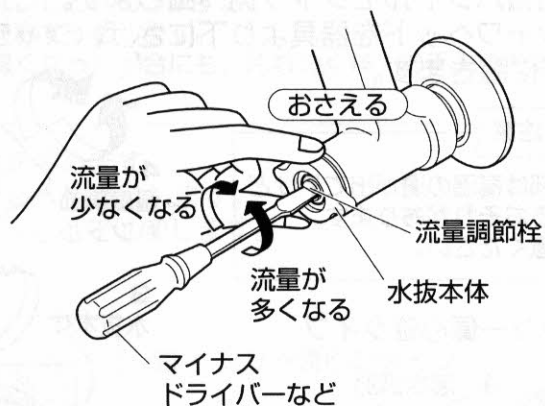
寒冷地用



⚠ 注意

水抜本体が回らないように、水抜本体をもって流量調節栓を回してください。
水抜本体がはずれると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害のおそれがあります。

■ ベンリー偏心管タイプ



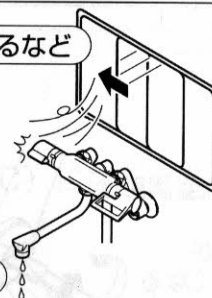
凍結予防について

一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど



少量の水を出すなど

凍結予防について

寒冷地用の場合 (水抜き方法)

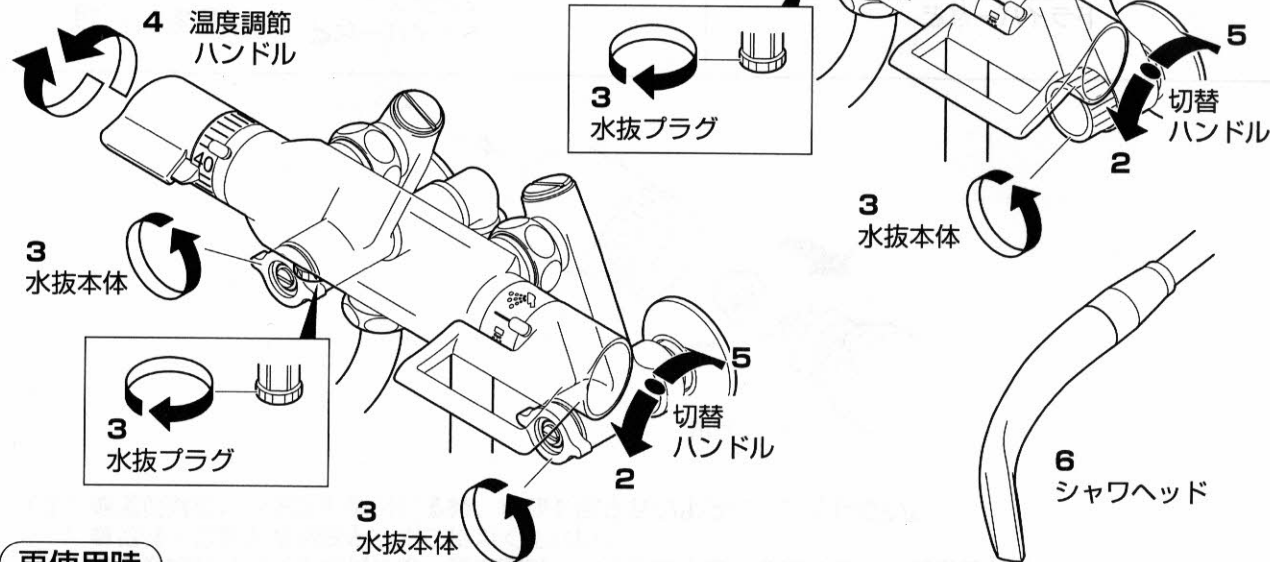
寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備 (水抜き栓) とあわせて使用する製品です。
凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜き栓を開けます。
- 2 切替ハンドルを吐水口側へ回します。
- 3 水抜きプラグ・水抜き本体をすべてゆるめます。
- 4 温度調節ハンドルをH側へ回して水を抜き、さらにC側へ回して水を抜きます。
(数回まわす)
- 5 切替ハンドルをシャワ側へ回します。
- 6 シャワヘッドを器具より下にさげ、シャワヘッドとホースを振って水を抜き、床に置きます。

注意

水抜き部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
ご注意ください。

■ ベンリー偏心管タイプ



再使用时

- すべての水抜きプラグ・水抜き本体が確実に閉まっているか確認してください。
- 切替ハンドルを止水位置にして配管の水抜き栓を閉め、元栓を開けます。
- 水抜きをしてもストレーナの網に付着した水滴が凍り、吐水しない場合があります。
その場合は、ぬるま湯をかけて温めてください。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

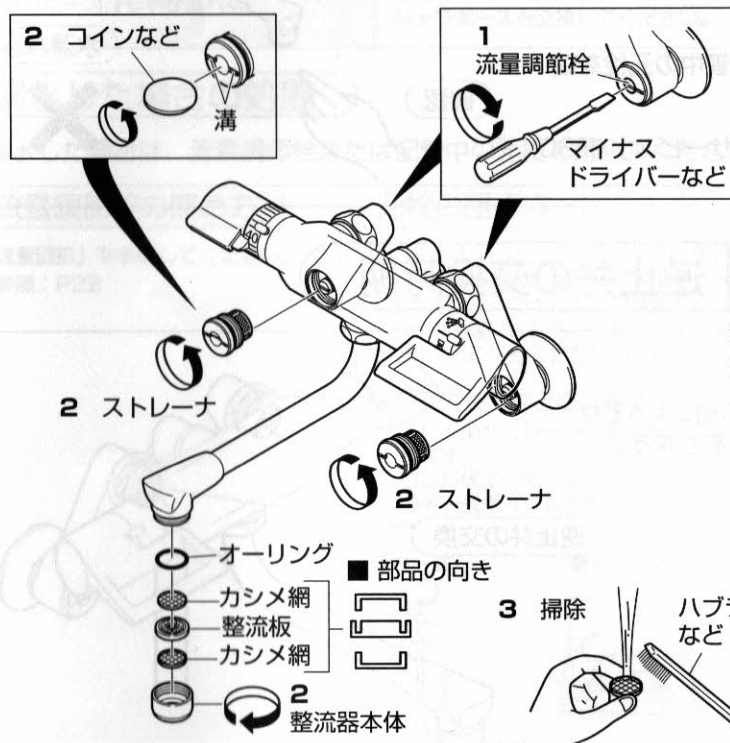


日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

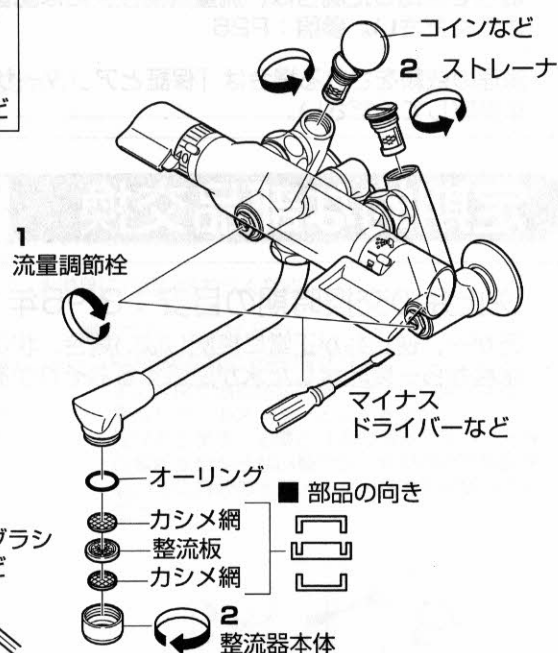
吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 ■ ストレーナを掃除する場合・・・流量調節栓を閉めます。
■ 吐水口を掃除する場合・・・切替ハンドルを止水位置にします。
- 2 整流器本体をはずします。ストレーナはコインなどではずします。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



■ ベンリー偏心管タイプ



再使用時 ストレーナ・整流器本体が確実に閉まっているか確認してください。

定期的な点検 可動部分の点検

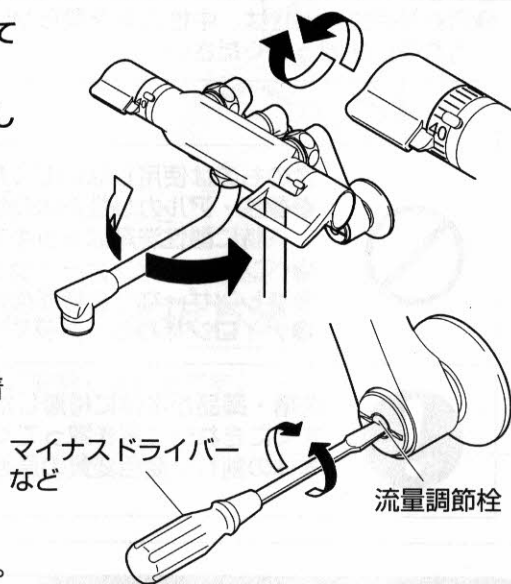
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。
放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。
温度調節ハンドル・吐水口・流量調節栓の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき温度調節ハンドル・吐水口・流量調節栓を回してください。(月1回を目安)

流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。寒冷地用の場合は水抜本体をもって回してください。
参照：P22

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。
吐水口・流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

温度調節ハンドル・吐水口・流量調節栓が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

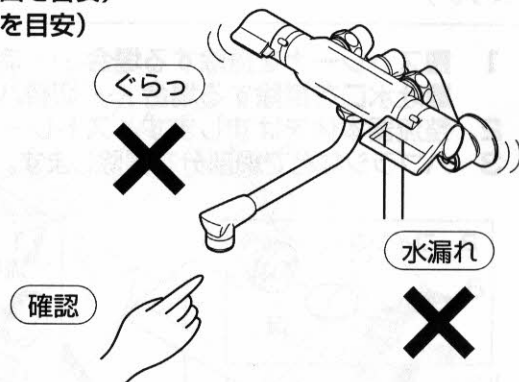
定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。参照：P26

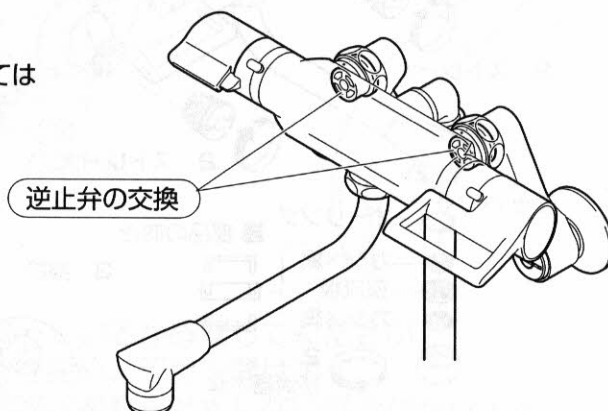
修理の依頼をされる場合は「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P24
高温しかでない	水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P20
	湯側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22
温度調節がうまくできない	湯側・水側の流量調節栓は開いていますか。	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P20
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P24
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。 参照：P21
水はねが気になる	———	流量調節栓で流量を調節する。 参照：P22

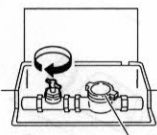
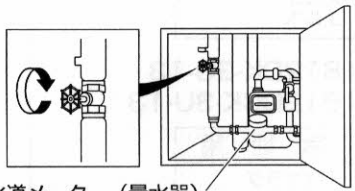
以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びハンドル部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。 ハンドルからの水漏れの場合は、一時止水切替ユニット及びサーモカートリッジを交換してください。 参照：P27
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 一時止水切替ユニットを交換してください。 参照：P27
シャワホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。 シャワホースを交換してください。 参照：P27

漏水した場合の処置

漏水した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。

流量調節栓の閉め方	元栓の閉め方
「流量調節」を参照してください。 参照：P22	元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左回しの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。 古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。 ●キー式  止水栓キー SAN-EI品番： PR30A（止水栓キー） ●ハンドル式  水道メーター （量水器） ■ マンションなどの 中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。  水道メーター（量水器）

こんなときは 本製品の構造

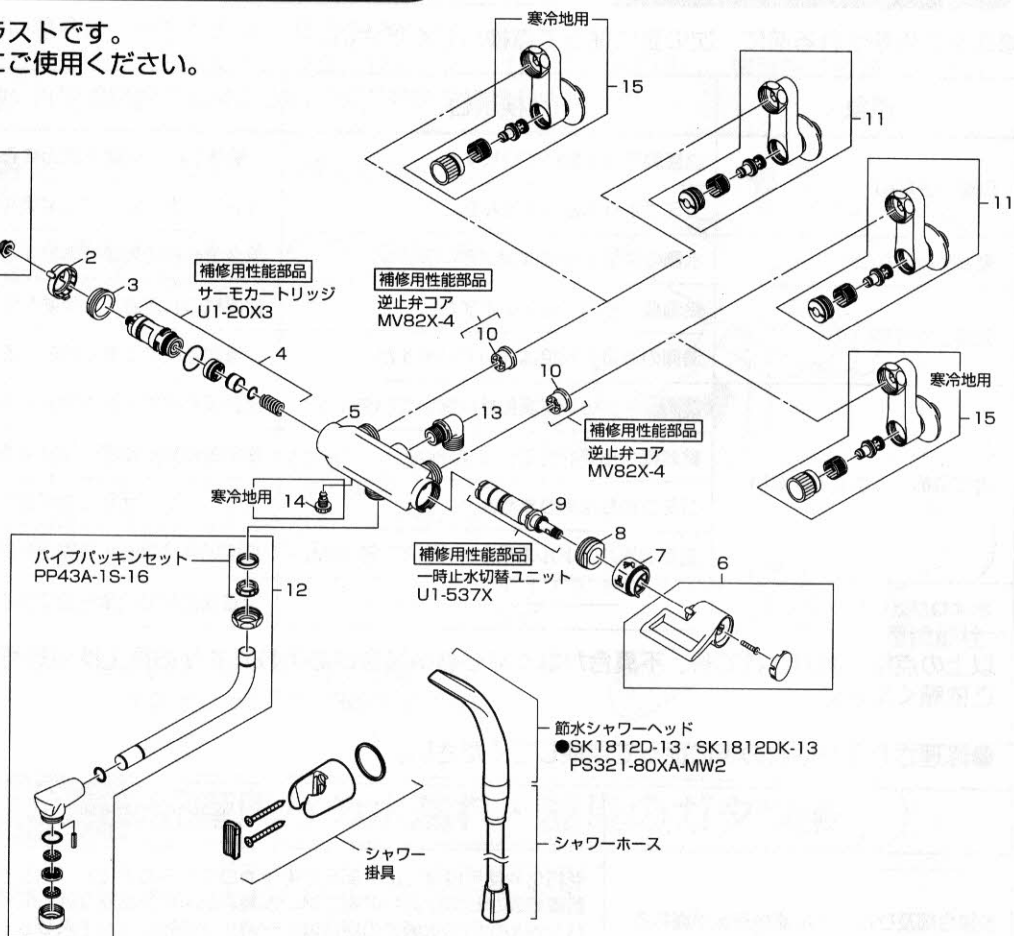
本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。

SK1812D-13
SK1812DC-13

一般用
1. 温調ハンドル
2. 温調表示リング
3. プッシング
4. サーモカートリッジ
5. 胴
6. 切替ハンドル
7. 切替表示リング
8. プッシング
9. 一時止水切替ユニット
10. 逆止弁コア
11. 偏心管
12. 吐水口
13. エルボ

SK1812DK-13
SK1812DCK-13

寒冷地用
14. 水抜プラグ
15. 偏心管

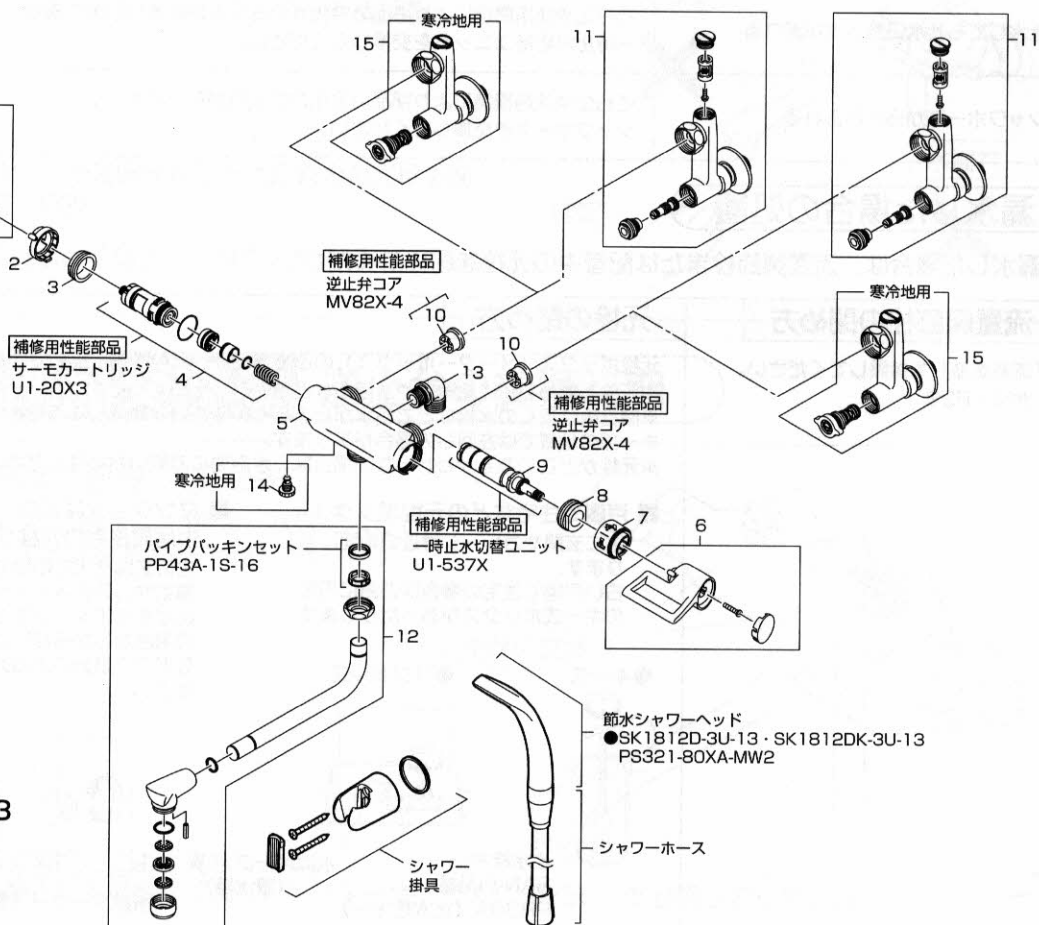


SK1812D-3U-13
SK1812DC-3U-13

一般用
1. 温調ハンドル
2. 温調表示リング
3. プッシング
4. サーモカートリッジ
5. 胴
6. 切替ハンドル
7. 切替表示リング
8. プッシング
9. 一時止水切替ユニット
10. 逆止弁コア
11. 偏心管
12. 吐水口
13. エルボ

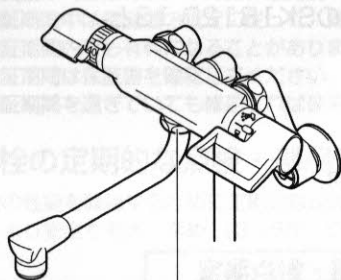
SK1812DK-3U-13
SK1812DCK-3U-13

寒冷地用
14. 水抜プラグ
15. 偏心管

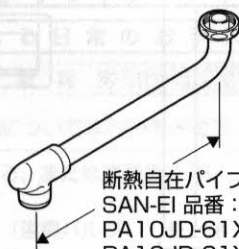


こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。
(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。
あらかじめご了承ください。)

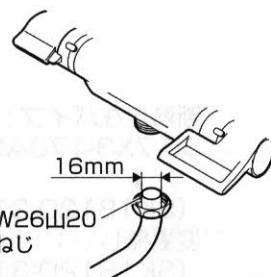


■ パイプの長さを変えたい。



断熱自在パイプ
SAN-EI 品番：
PA10JD-61X2-16 (240mm)
PA10JD-61X3-16 (300mm)

パイプ外径16mmが適合します。



16mm

W26山20
ねじ

■ シャワヘッドを変えたい。

〔マッサージ機能付〕
マッサージシャワーヘッド
SAN-EI 品番：
PS305-80X-W



シャワヘッド取付ねじ
G1/2が適合します。



G1/2ねじ

■ シャワホースを変えたい。

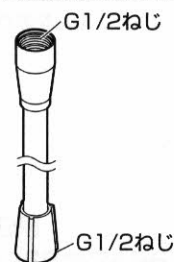
〔折れにくい〕
ラセンホース
SAN-EI 品番：
PS30-56TX



〔新しいホースと交換〕
シャワーホース
SAN-EI 品番：
PS30-86TX
〔長くしたい〕
シャワーホース (2M)
SAN-EI 品番：
PS30-86TXA2



シャワホース取付ねじエルボ側G1/2
シャワヘッド側G1/2が適合します。



G1/2ねじ

G1/2ねじ

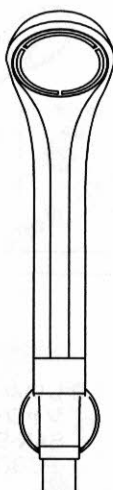
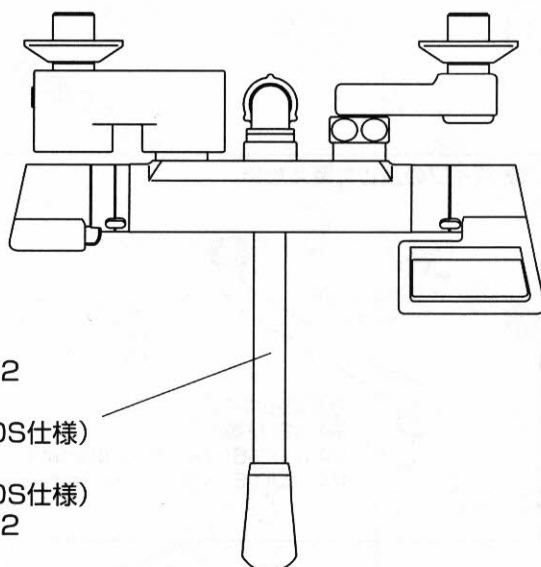
SK1812D-31E0520S・SK1812D-31E0510S の仕様について

仕様の違い

- SK1812D-31E0520S・SK1812D-31E0510Sは、説明書本体に記載のSK1812D-13と下記の仕様が異なります。

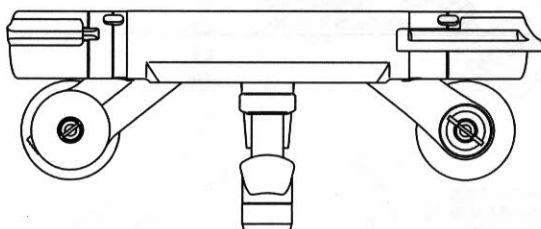
断熱自在パイプ：
60-7X3-170-MW2MW2

↓
(SK1812D-31E0520S仕様)
変更無し
(SK1812D-31E0510S仕様)
60-7X3-240-MW2MW2



シャワー掛具：
S32-85-H43

↓
S340-85-MW2



保証とアフターサービス

【保証について】

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め（3～5年）の点検・交換をおすすめします。（交換時期は、使用環境などにより異なります。）

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え
ご検討

日頃のお手入れについてはP24、定期的な点検についてはP25をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例

一時止水切替ユニット・サーモカートリッジ（温調バルブ）・逆止弁（逆流防止弁）・シャワホース・シャワヘッド・ハンドル・網（ストレーナ）・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP27を参照してください。

【補修用性能部品の供給期間】

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

【修理の依頼と部品交換の依頼について】

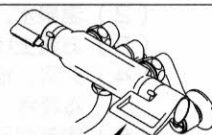
- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ（お取付け）年月日
 - 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには、
水栓の右側表面に貼付
のシールをご確認ください。

（例）

SK1812D-13 品番
20140116 G 製造番号



【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

SAN-EI

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661 東京 ☎(03)3683-7496

フリーダイヤル ☎0120-06-9721

東京支店 …… ☎(03)3683-7471
名古屋支店 …… ☎(052)800-8688
大阪支店 …… ☎(06)6972-6981
札幌営業所 …… ☎(011)782-5353
盛岡営業所 …… ☎(019)605-7301
仙台営業所 …… ☎(022)258-6251
郡山営業所 …… ☎(024)931-1377
新潟営業所 …… ☎(025)281-1291
東京西営業所 …… ☎(042)582-7141
さいたま営業所 …… ☎(048)625-4741

横浜営業所 …… ☎(045)929-0331
静岡営業所 …… ☎(054)236-1115
金沢営業所 …… ☎(076)268-7751
京都営業所 …… ☎(075)605-5761
神戸営業所 …… ☎(078)843-9231
広島営業所 …… ☎(082)922-3631
松山営業所 …… ☎(089)905-7866
福岡営業所 …… ☎(092)674-1230
熊本営業所 …… ☎(096)385-7161
沖縄営業所 …… ☎(098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがあると無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品 番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）
	本 体	2ヵ年
お買上げ日 （お取付け日）	年 月 日	
お客様	お名前 様	
	ご住所	
	電話 （ ）	
販売店 工事店		店名 住所
		電話 （ ）

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - （1）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - （2）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - （3）お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - （4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - （5）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - （6）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - （7）施工説明書などに基かない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - （8）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - （9）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - （10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - （11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - （12）寒冷地仕様様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - （13）本書の提示がない場合
 - （14）本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

修理メモ

S A N E I

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661 東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721



37254

00182360

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告



分解、修理、改造をしない

感電や故障の原因になることがあります。



浴室内に電気製品を持ち込まない

感電のおそれがあります。



排水栓は、排水口に確実に押し込む

空焚きとなり、火災のおそれがあります。



照明器具や換気扇の手入れは、電源スイッチを切ってから行う。

感電やけがをするおそれがあります。



幼児や身体の不自由な方だけで入浴させない

おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



照明器具のカバーを外したり、破損したまま使わない。

感電したり、電球が割れて、けがをするおそれがあります。



風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない

おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



組込まれる機器・水栓金具等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



浴室内で幼児だけで遊ばせない

おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



照明器具にタオル等を、かけない

過熱して、火災の原因になるおそれがあります。



注意



排水口にシンナー等の溶剤を流さない

排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。



ドアの急激な開閉はしない

手や足をはさまれて、けがをするおそれがあります。



浴槽に無理な力をかけない

ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。



目地(コーキング)が切れたり、浮いたまま使用しない

漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



浴室の点検口のフタは、設備点検以外、絶対にあけない

フタが外れ、けがをしたり、水漏れのおそれがあります。



水栓に足をかけない

破損、漏水のおそれがあります。



入浴前に必ず湯温を、確認する

やけどをするおそれがあります。



浴室内は、石けん液等ですべりやすくなるので、気をつける

ころんで、けがをするおそれがあります。



タオル掛け等に、ぶらさがったり、強く引っ張ったりしない

転倒等により、けがをするおそれがあります。



循環温水器(24時間バス)は使用しない

浴槽に変色、破損のおそれがあります。



ドアに勢いよく水をかけない

水漏れのおそれがあります。



浴槽での漬けおき洗いは行わない

浴槽を痛めることがあります。



浴槽のふちやカウンターなどには、絶対に乗らない

足をすべらせて、けがをするおそれがあります。



サーモ付混合栓以外でシャワーを使うときは、他の水栓を使わない

湯温が急上昇してやけどをするおそれがあります。



排水栓をつないでいるくさりの浴槽取付け部を無理に回さない

取付部がゆるむと、水漏れのおそれがあります。



風呂フタは必ず浴槽に合ったものを使用する

フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。



掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を表示書きにしたがいに正しく使う。必ず水で流す

使い方を誤ると、人体に影響がでたり、本体に不具合を生じるおそれがあります。クレンザ等研磨剤入りのものは製品の光沢を損ないますので使用しないでください。



イオウ分等の入った入浴剤は使用しない

配管部をいため、漏水のおそれがあります。入浴剤の注意書きを充分お読みください。



電球の交換や換気扇の掃除をするときは、必ず安定した踏み台を使う

バランスをくずして転倒し、けがをするおそれがあります。



シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確認する

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



浴槽内にガラス製品等割れやすいものを、持ち込まない

割れて、けがをするおそれがあります。



カビ取り剤は使わない

カビ取り剤は、壁の変色等を招くおそれがあります。



水栓ハンドルの急閉止はしない

配管から漏水し、家財等を濡らすおそれがあります。



入浴の際はドアを確実に閉める

溢れ水が浴槽外に出て、財産損害の発生のおそれがあります。



浴槽から勢いよくお湯を溢れさせない

浴槽外に水が溢れたり、洗い場のフタが外れて、転倒するおそれがあります。



水栓の左側は給湯側のため高温になっていますので、金具(金属)の表面に直接肌を触れない

やけどをするおそれがあります。



凍結が予想される場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行う

凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害の発生のおそれがあります。



器具の位置をかえたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等に相談する

誤った取付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因となります。



浴室の点検口があるタイプは点検時以外は、絶対にあけない

漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使ったり近づけたりしない

金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。



エプロン、トラップフタを外して清掃する際は、ゴム手袋等で手を保護する

浴槽、エプロン、トラップフタ等の裏面でけがをするおそれがあります。



便器にはトイレトーパー以外を流さない

排水がつまり、汚水があふれて家財等を汚すおそれがあります。



トイレ用洗剤は、便器(陶器部分)以外には使わない

他の部分に使用すると、変色、劣化等の不具合を生じるおそれがあります。

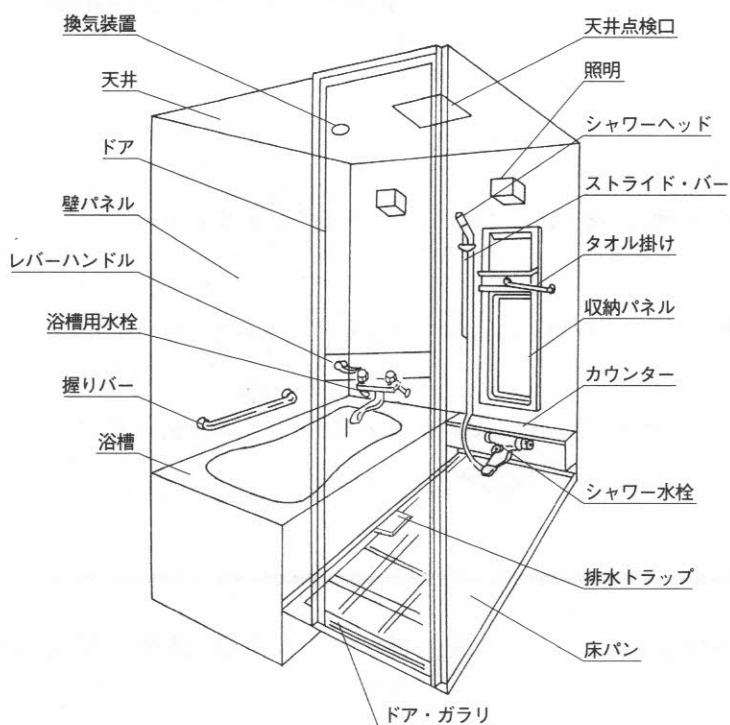


床表面に砂粒があるときはすぐに取りのぞく

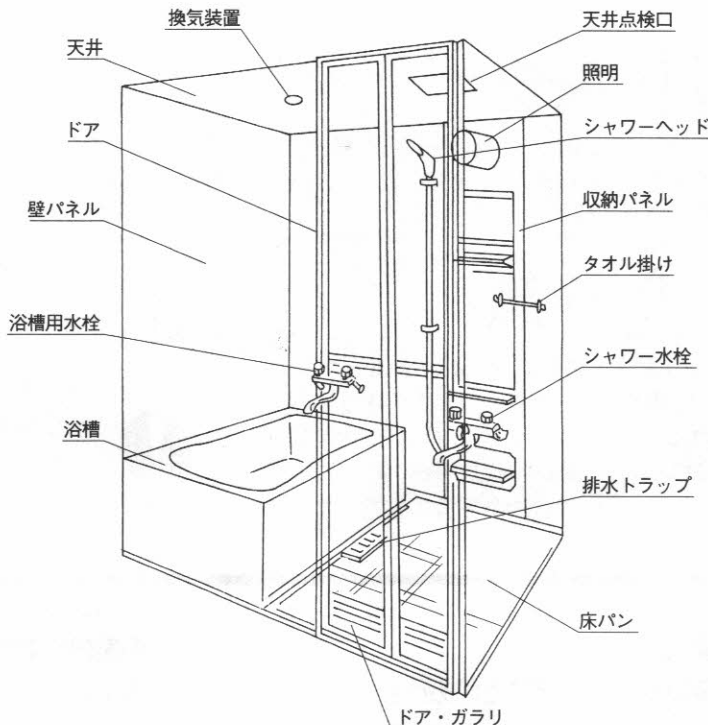
床面に砂粒があると、イスや洗面器の引きずりにより、床面が削れることがあります。

各部の名称

カウンタータイプ



収納パネルタイプ



この図はユニットバスルームの組み合わせの一例です。
ユニットバスルームは、建築物ごとに組み合わせ（各部の仕様）が異なる場合がありますので
予めご了承下さい。

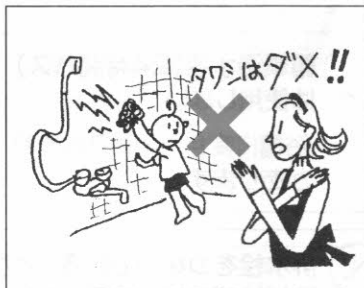
例：●収納パネル・ストライドバーがつかない組み合わせがあります。
●床排水トラップの位置が異なる場合があります。
●水栓がシャワー水栓のみの場合があります。

⚠ 注意 ご使用の注意事項

床・浴槽・壁・天井・人造大理石カウンターの表面保護について

■床面・浴槽・カウンターを傷つけないために

- 金属タワシなどの硬いものでこすったり、重くて固いものを床に落とさないで下さい。
- タバコなどの火気を近づけないで下さい。
- ヘアピン・カミソリの刃などを床に置くと、サビが付着してとれなくなることがあります。
- 酸・アルカリの強い洗剤、クレンザー、カビ取り剤、入浴剤、温泉水などのご使用はお避け下さい。いずれも金具類や浴槽表面などの寿命を損なうことがあります。
- 浴室用洗剤をご使用の場合は、洗剤に表示されている使用方法および注意事項に従って使用して下さい。
- 床面に砂粒があるとイスや洗面器の引きずりにより床表面が削れることがあります。砂粒があるときは充分に取り除いてからご使用下さい。



■壁・天井を傷つけないために

- 金属タワシなどの硬いものやクレンザーなど研磨剤でこすったり、たたいたりしますと、傷ついたり破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- 壁・天井に穴をあけたり、釘打ち等をして棚やアクセサリーを取付けることは、絶対にしないで下さい。

点検口について

天井の点検口は配線・換気ダクトの点検のために設置してあるものです。

■点検の際に注意していただきたいこと

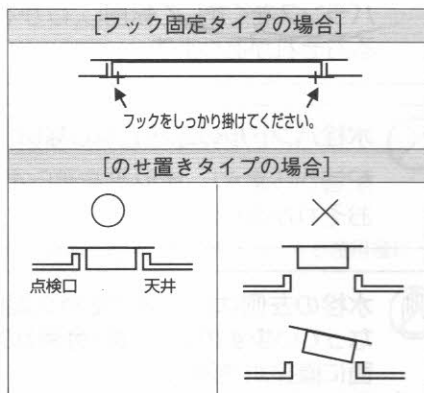
⚠ 警告

点検の際は、収納パネル・カウンターの上に乗ったり、天井にぶら下がったりしない。転倒してけがをするおそれがあります。

- 脚立をご使用の際は床面を保護して下さい。

■点検後は点検口をもとの通りに正しく

- 点検を終わった後は点検口をもとの位置に正しく納めるようにして下さい。



火気厳禁・薬品禁止について

■火気禁止

⚠ 警告

浴室内でタバコを吸ったり、その他の火気（コンロ・ストーブ等）を使用したりしない。火災が発生するおそれがあります。

■薬品禁止

- 中性洗剤以外のクレンザー、みがき粉、シンナー、アセトン、ベンジン、塩酸、現像液等の薬品は使用しないで下さい。



火気厳禁・薬品禁止について

浴室内を湯気のこもったまま放置しておきますと、カビなどの発生原因となります。また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気を心がけて下さい。

■窓（オプション）がある場合

- 窓をあけて換気を心がけて下さい。浴室内を湯気のこもったまま放置しておきますと、カビなどの発生原因となります。また、水分が残らないように、乾いたやわらかい布で拭き取りますとさらに美しさが長持ちします。



■換気扇（オプション）がある場合

- 入浴後、換気扇を30分以上回して、浴室内にこもった湯気を屋外へ排出して下さい。水分が残らないように、乾いたやわらかい布で拭き取りますと、さらに美しさが長持ちします。

■入浴後は浴槽に風呂フタを

- 残り湯をとっておかれる場合は、浴室を長持ちさせるためにも浴槽には必ず、風呂フタをご使用下さい。（残り湯は防災にも役立ちます。）



収納棚について

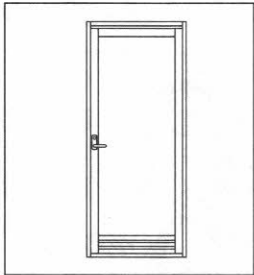
- 金属タワシなどの硬いものでこすったり、たたいたりしないで下さい。タバコなどの火気を近づけないで下さい。また、ヘアピン・カミソリの刃などを直接置くとサビが付着してとれなくなることがあります。



ドアロックの施錠・解錠

■レバーハンドル框ドア

【ドア形状】



(浴室内)

●浴室の施錠・解錠

ドアを開けてからレバーハンドルの下にある開閉スイッチまたはツマミで操作します。

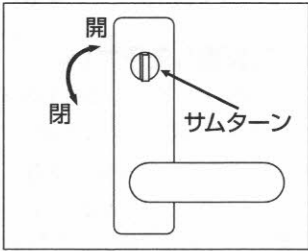
●非常時の浴室外からの解錠

コインを使ってツマミをまわして下さい。

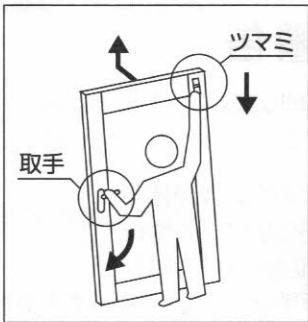
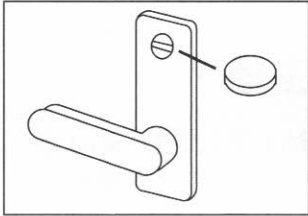
●非常時の浴室外からのドアの取り外し方

- ①ドアの取手をひねりながらツマミを徐々に下げます。
- ②浴室側に倒しつつ持ち上げると外れます。

框ドア浴室内側

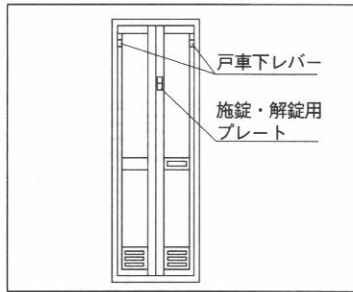


框ドア浴室外側



■折戸

【ドア形状】 (浴室外)



●浴室の施錠・解錠

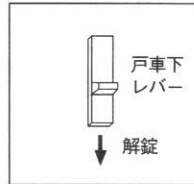
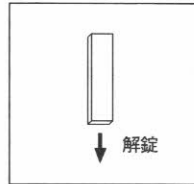
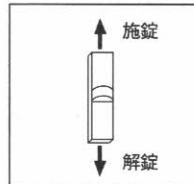
レバーを上下に動かして施錠・解錠します。

●非常時の浴室外からの解錠

プレートを下に動かして解錠します。

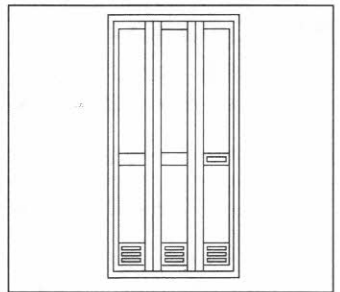
●非常時の浴室外からのドアの取り外し方

ドア上部端にある戸車レバーを下げて下さい。



■3枚引戸

【ドア形状】

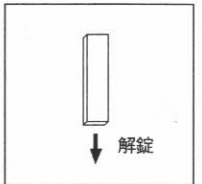
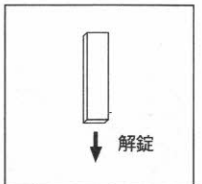


●浴室の施錠・解錠

レバーを上下に動かして施錠・解錠します。

●非常時の浴室外からの解錠

レバーを下に動かして解錠します。



点検口について

■ドアは湿気をさらいます。

- 入浴中の飛沫は、入浴後に壁などと同様に乾いた布でカラ拭きして下さい。水滴をそのまま放置しておくと、カビやサビなどの発生原因になります。

■ドアに直接水をかけないようにして下さい。

- ドアまわりから、浴室外に水が飛散することがあります。

■ドアロックも水をさらいます。

- ドアロックに水をかけたりしますと、サビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなりますのでご注意下さい。

■ドア材や面材(=樹脂部分)はシンナー等の有機溶剤を使わないで下さい。

- シンナー等で拭かないで下さい。表面が溶けることがあります。また、ドアの面材(樹脂を拭く)にも絶対シンナー等を付着させないで下さい。



青い水について

- 浴槽やタオルがごくまれに青くなると「青い水が出た」と言われます。建物の配管に銅管が使用されている場合に生じることがあり、通常銅管が水と接すると若干溶けてイオンになります。この銅イオンが青く肉眼で見られるのは数10ppm以上溶けこんだ場合であり、普通これほど多量の銅イオンが含まれることはありません。しかし、水が青くないのに浴槽がなぜ青くなるかといいますと、銅管から溶け出した水中の微量な銅と、石鹸や垢に含まれている脂肪酸とが反応してできた濃い青色の「銅石鹸」という物質が浴槽に付着するためですが、この物質は無害です。もし、浴槽が青くなって不快な場合は、食酢と医薬品として市販されているアンモニア水(※一般に虫刺されや気付け剤として使用されているもので、濃度9.5～10.5wt%程度のもの)とで、交互に浴槽を拭いて下さい。また、タオル等の布類は中性洗剤で洗えばきれいに落ちます。

*アンモニア水を使用する際は、当該アンモニア水の容器等に記載された取扱上の注意事項を遵守して下さい。



お手入れ方法

壁・天井・ドアのお手入れ

■少なくとも週一回

- やわらかい布またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて少なくとも週一回は、水分・湯アカ・ホコリを拭き取って下さい。

■汚れが落ちにくい時は

- 工業用アルコールなどを、やわらかい布につけて拭き取って下さい。
- 壁・天井の継目部分の目地材には、ゴミやアカがつきやすくカビが発生することがありますので、同様にこまめにお手入れをして下さい。

床および浴槽のお手入れ

■湯アカや石鹸カスはその日のうちにお掃除を

- 湯アカは乾いてからでは落ちにくくなります。ご入浴後、排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床を軽く水洗いして下さい。
- 中性洗剤をお使いになればさらに美しくなります。

■汚れが落ちにくい時は

- 工業用アルコールなどを、やわらかい布につけて拭き取って下さい。

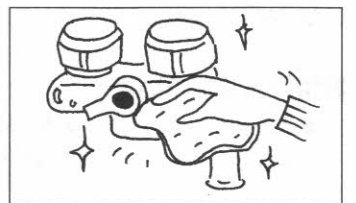


排水栓器具・タオル掛け等金属部のお手入れ

やわらかい布で磨くことが、なによりのお手入れ方法です。

■美しい光沢を保つために

- 年に二回程度シリコン油・シン油を浸した布で拭いていただきますと、いつまでも美しい光沢を保てます。



■油類が付着したときに

- 石けん液や中性洗剤で洗い落として下さい。その後、乾いた布で水気をとって下さい。

■金属部の白濁について

- 水道水に含まれる成分が表面に付着して白濁すること(水あかの付着)がありますのでご注意ください。ご使用後に乾拭きしていただければ、きれいな状態が維持できます。

■ステンレス製品の錆について

- ご使用の状態によっては、ステンレス製品でも錆の発生するおそれがあります。ステンレス製品のお手入れは、水洗いと乾拭きで充分です。万一、錆が発生してしまった場合には、ブラシ等で錆を除去し、十分に水洗いの上、乾拭きするようにして下さい。

お手入れ方法

排水トラップのお手入れ

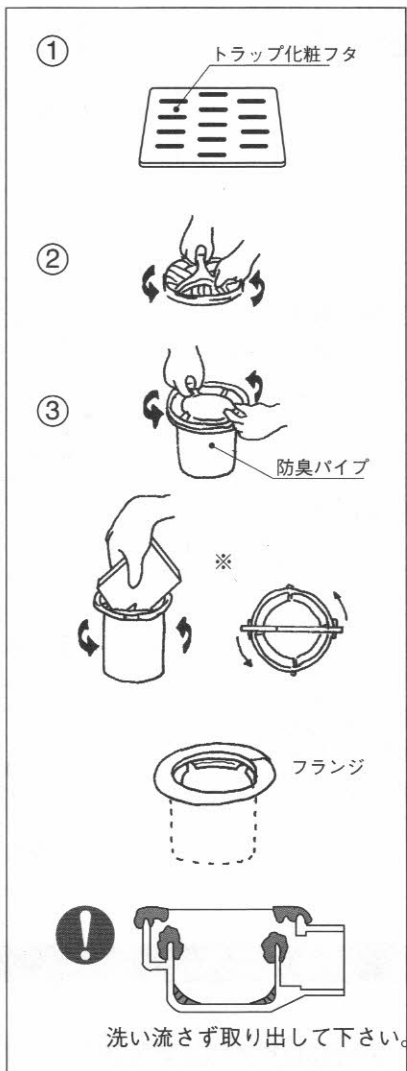
■排水口のお手入れ

- ① 床の化粧フタを外して下さい。
ヘアキャッチャーに詰まったゴミを取り除いて下さい。
- ② ヘアキャッチャーを左に回転させて外して下さい。
- ③ 防臭パイプを左に回転させ防臭パイプを外します。

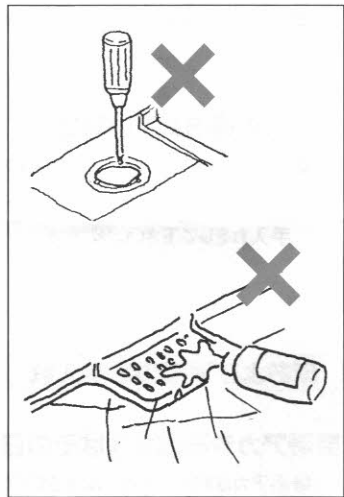
※かたくて外れない場合は、幅10cm程度の木片を突起部にかけて右図のように回転させて外して下さい。



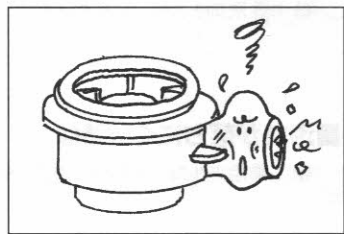
-  フランジは取り外さない。
漏水で、家財、隣戸階下住居等、財産損害
発生のおそれがあります。
-  図中の  部分  部分の髪の毛や
ゴミ等は洗い流さないで取り出す。配管の詰
まりの原因となります。
-  ヘアキャッチャーが取り付けられている場合は、
ヘアキャッチャーをこまめに清掃する。
毛髪等による目詰まりにより排水性能が低下
して、浴室外へ漏水するおそれがあります。



- ① トラップ固定用のフランジは外さない。
接続部から漏水して大事故に発展することがありますので、説明図に従って下さい。
 - ② トラップに溶剤・塗料・接着剤・薬品など(例えば、写真現像液)を流さない。
トラップが変形したり、侵されたりすることがありますので、流さないよう充分注意して下さい。
 - ③ 強い薬品や洗剤を浴室内で使わない。
トラップが割れるおそれがあります。万一ご使用になってしまった場合は、十分に水を流して薬品や洗剤が浴室およびトラップに残らないように充分注意して下さい。



- 目皿もしくはヘアーキャッチャーから取り除いた毛髪やゴミは排水管に流さないで下さい。詰まりの原因となります。
- トラップはいつも正常にセットして下さい。防臭パイプを確実にセットしないと排水管の臭いが上がってきます。
- ヘアーキャッチャーを取り外した状態でのご使用はお避け下さい。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。



鏡のお手入れ

■鏡の白濁について

- 水道水に含まれる成分が表面に付着して白濁すること(水あかの付着)がありますのでご注意ください。ご使用後に乾拭きしていただければ、きれいな状態が維持できます。

■洗剤等のご注意

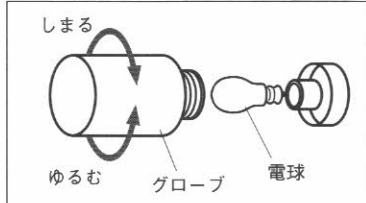
- 強い薬品や洗剤を鏡(特に裏面側)に付着させたまま放置すると、鏡が変色するおそれがありますので、ご使用にならないで下さい。万一、ご使用されてしまった場合は、ご使用後に十分に水を流して薬品や洗剤が残らないように心掛けて下さい。

照明器具の交換方法

電源スイッチを入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。

■次の手順で交換して下さい。

- 電源スイッチを切って下さい。(OFFにする)
- 照明グローブを左に回して外して下さい。
- 電球を取りかえて下さい。(60W白熱灯)
- 照明グローブにゴムパッキンが正しく装着されているのを確認した上で、右に回してまっすぐ取り付けて下さい。



*形状は浴室タイプで異なります。



濡れた手で交換作業はしない。
感電のおそれがあります。



- !** 照明器具の手入れは電源スイッチを切ってから行う。
グローブが熱くなっていることがありますので、充分冷ましてから作業して下さい。
- ⊘** 次の電球は使用しない。
- ・60Wをこえる電球
 - ・反射鏡付の電球
- 照明グローブが加熱して火災のおそれがあります。

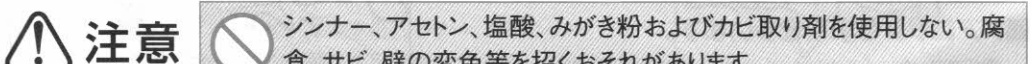
いつまでも美しくお使いいただけるよう、日頃のお手入れをして下さい。

■お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
 - 中性洗剤や、バスクリナー
 - 工業用アルコール(リグロイン、エタノール等)
- 

■お願い

- 清掃後は洗剤が残らぬよう充分水洗いをして下さい。



 **注意**  シンナー、アセトン、塩酸、みがき粉およびカビ取り剤を使用しない。腐食、サビ、壁の変色等を招くおそれがあります。

アフターサービスについて

本物件は建築会社と弊社との間で下記のような保証になっております。

■商品名 ユニットバス

保証期間 (1) 本体:竣工検査後2年間
(2) 付属部品:竣工検査後1年間

- 注:「本体」とは、ユニットバス天井・壁・床および建具材と、これらを組み合わせして箱体を構成するための部品類。
「付属部品」とは、天井・壁・建具材に取り付けられた部品および床に設置された部品。

井・壁・床および建具材と、これらを組み合わせせて箱体を構成するための部品類。

「付属部品」とは、天井・壁・建具材に取り付けられた部品および床に設置された部品。

但し、下記事項によるものは保証しかねます。

- (イ) 取扱説明書に従わない、使用上の誤りによる損傷
- (ロ) 組立後の移動および建築物の変形や改造による損傷
- (ハ) 天災、火災、その他不可抗力による損傷
- (ニ) その他、製造・組立以外の損傷
- (ホ) 電球・水栓パッキン等の消耗品

株式会社ブリヂストン

住設機器・設備資材販売促進部

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-6 八重洲センタービル13F TEL.03-5202-6863 FAX.03-5202-6868

東日本	プリダストン化工品東日本株	東北支店	〒981-3131	宮城県仙台市泉区七北田字東裏 180-1	TEL 022-371-0431	FAX 022-371-0433
	プリダストン化工品東日本株	福島営業所	〒963-0020	福島県郡山市静町 19-2 西部ファーストワンビル 2F	TEL 024-962-0403	FAX 024-961-4841
	プリダストン化工品東日本株	新潟営業所	〒950-0914	新潟県新潟市中央区茶町 1-10-26	TEL 025-368-8080	FAX 025-368-8080
	プリダストン化工品東日本株	長岡営業所	〒940-2114	新潟県長岡市北山 4-5-1	TEL 0258-28-0011	FAX 0258-28-0011
	プリダストン化工品東日本株	東京本部	〒105-0011	東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルA館 9F	TEL 03-4590-7007	FAX 03-4590-7027
	プリダストン化工品東日本株	宇都宮営業所	〒321-0953	栃木県宇都宮市東宿郷 3-1-7 NBF宇都宮ビル 4F	TEL 028-615-6555	FAX 028-615-6556
	プリダストン化工品東日本株	高崎営業所	〒370-0043	群馬県高崎市高崎町東沖 438-1	TEL 027-310-6605	FAX 027-310-6606
	プリダストン化工品東日本株	大宮営業所	〒338-0001	埼玉県さいたま市中央区上落合 2-2-1 ポリテック29 2F	TEL 048-615-3777	FAX 048-615-3778
	プリダストン化工品東日本株	千葉営業所	〒260-0032	千葉県千葉市中央区登戸 1-20-12	TEL 043-241-6700	FAX 043-241-6640
	プリダストン化工品東日本株	つくば営業所	〒305-0817	茨城県つくば市研究学園C49街区 1 号ビシティア・アモビル 3F	TEL 029-863-2388	FAX 029-850-0510
	プリダストン化工品東日本株	横濱営業所	〒220-0111	神奈川県横浜市中区高島 2-6-32 日産ビル12 12F	TEL 045-444-5550	FAX 045-444-5533
	プリダストンタイ化長野販売(株)		〒399-0333	長野県松本市菅貫 7950	TEL 0263-26-8700	FAX 0263-26-8701
長野		中部支社	〒461-0002	愛知県名古屋市東区代官町 35-16 第一富士ビル 5F	TEL 052-930-8763	FAX 052-930-8768
西日本	プリダストン化工品西日本株	静岡支店	〒420-0816	静岡県静岡市葵区香谷 6-3-3	TEL 050-350-9267	FAX 050-350-9266
	プリダストン化工品西日本株	北陸支店	〒420-0656	石川県金沢市出雲町 329	TEL 050-350-9263	FAX 050-350-9262
	プリダストン化工品西日本株	近畿支社	〒550-0313	大阪府大阪市西区新町 2-4-2 一乃坊 SIAビル 11F	TEL 06-6534-1865	FAX 06-6534-1877
	プリダストン化工品西日本株	中国支社	〒731-5141	広島県広島市佐伯区千田 2-1-40	TEL 082-923-3550	FAX 082-923-3550
	プリダストン化工品西日本株	岡山支店	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田 3-17-10	TEL 086-241-8442	FAX 086-241-8456
	プリダストン化工品西日本株	山口支店	〒745-0066	山口県周南市岡田町 3-10	TEL 0834-21-7372	FAX 0834-32-6457
	プリダストン化工品西日本株	四国支店	〒790-0952	愛媛県松山市朝生田町 2-2-24	TEL 089-915-9091	FAX 089-915-9023
	プリダストン化工品西日本株	九州支店	〒812-0018	福岡県福岡市博多区住吉 2-2-1 アクアエ博多イースト 5F	TEL 092-261-5032	FAX 092-261-5040
	プリダストン化工品西日本株	南九州支店	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山 5-11-25	TEL 096-389-0011	FAX 096-388-0215
	プリダストン化工品西日本株	鹿児島営業所	〒890-0033	鹿児島県鹿児島市西別府町 2941-43	TEL 099-282-6796	FAX 099-282-6797